

平成29年度 要 覧



名護城からの風景

「未来を切り拓くやんばるっ子」



国頭教育事務所

〒905-0015 沖縄県名護市大南 1-13-11
Tel:0980-52-2664 Fax:0980-54-2229

【目次】

平成29年度

ページ

1	管内学校の概況	
(1)	所在地図	1
(2)	管内校種別及びへき地級別等学校数	2
(3)	学級数別学校数	2
(4)	市町村別児童生徒数・学級数・教職員数	2
2	児童・生徒数の推移	3
3	沿革	4
4	事務所組織	6
5	業務内容及び事務分掌	
(1)	業務内容	7
(2)	事務分掌	
①	総務班	8
②	指導班	10
③	その他	11
6	国頭教育フロンティアプラン	12
7	指導行政の重点・取り組み事項	13
8	研修事業計画及び研修修了者一覧	
(1)	研修事業年間計画	25
(2)	研究指定校の取組状況	29
(3)	研修修了者	29
9	小・中学校の状況	
(1)	小学校	30
(2)	中学校	31
(3)	職種別・年齢別・性別教職員構成	32
10	公立幼稚園の概況	34
11	関係団体等	
(1)	国頭地区学力向上推進委員会組織図	35
(2)	学校教育関係団体一覧	36
12	受賞者一覧	37
13	管内学校一覧（小学校・中学校）	39

1 管内学校の概況 (H29. 4. 1現在)

(1) 所在地図



(2) 校種別学校数及びへき地等学校数

(平成29年5月1日現在)

	独立 (分校 校)	併小 置校 中	合 計	へき地校						準 へき 地	特 別 地	学 へ き 地 等 校 合 計
				1級	2級	3級	4級	5級	小計			
小学校	40 (1)		40 (1)	2		7			9	4		13
中学校	18		18			1			1	3		4
小中併置校		4	4				2	2	4	1		5
計	58 (1)	4	62 (1)	2	0	8	2	2	14	0	0	22

注①: ()内数字は分校で外数

へき地校割合

小学校	22.5%	}	全体	22.6%
中学校	5.6%			
併置校	100.0%			

(3) 学級数別学校数

(平成29年5月1日現在)

校種	学級数																				計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20以上	
(分校) 小学校	0	1	(1) 4	2	1	3	5	12	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	7	(1) 40
中学校	0	0	0	4	3	0	0	2	1	1	3	0	0	2	1	0	0	0	0	1	18
小中併置校	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	0	2	(1) 4	7	4	3	5	14	2	3	4	1	1	3	1	0	0	0	0	8	(1) 62

注①: ()内数字は分校で外数

注②: 学級数は少人数学級編制実施を含む数

(4) 市町村別児童生徒数・学級数・教職員

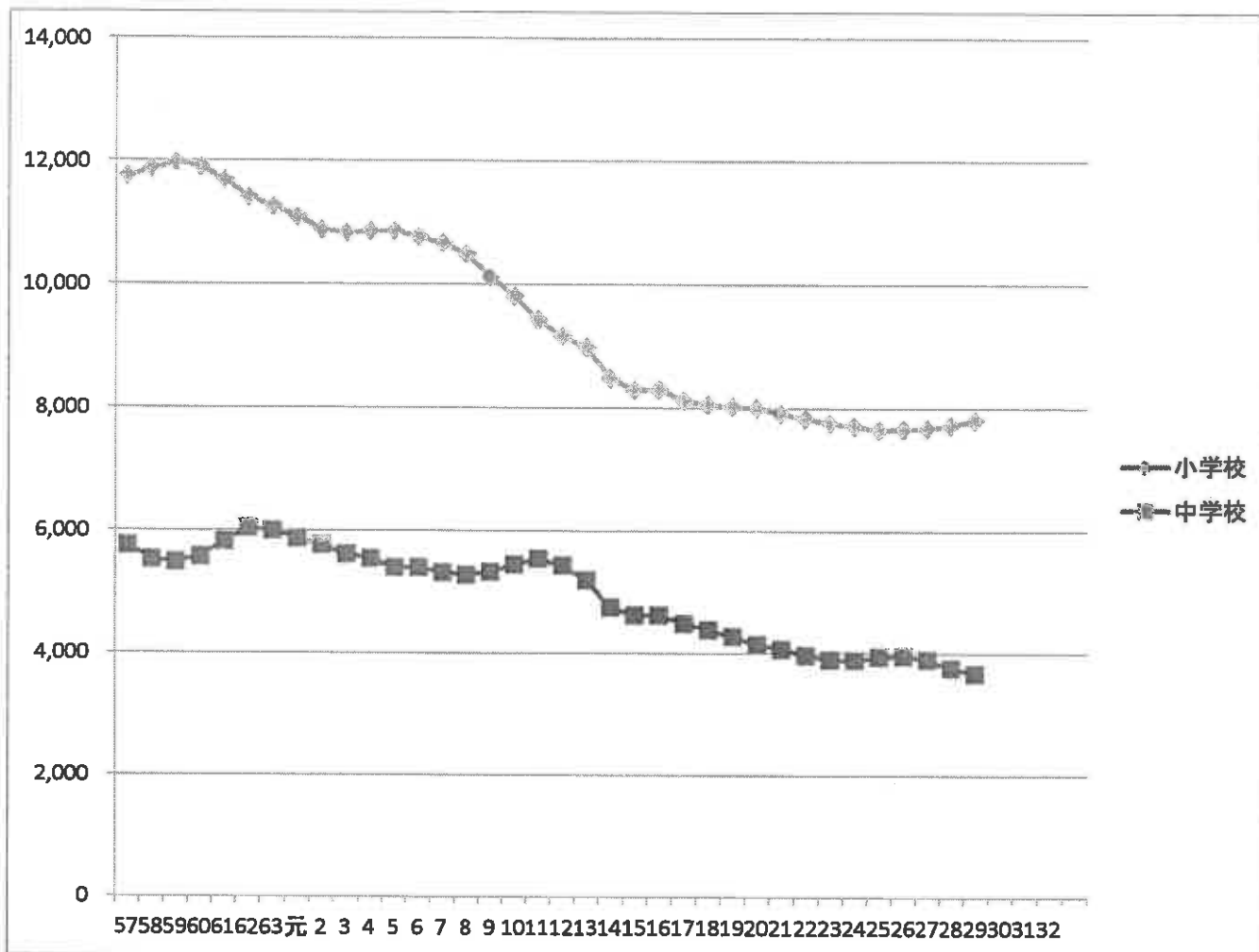
(平成29年5月1日現在)

校種	市町村	国頭	大宜味	東	今帰仁	本部	名護	宜野座	金武	伊江	伊平屋	伊是名	全体
		小学校	児童数	277	138	90	585	765	4,281	474	790	238	89
	割合 (%)	(3.5)	(1.8)	(1.2)	(7.5)	(9.8)	(54.8)	(6.1)	(10.1)	(3)	(1.1)	(1)	(100)
	学級数	32	8	14	29	44	199	27	42	16	11	7	429
	教職員数	63	16	25	46	75	296	45	63	27	20	13	689
中学校	生徒数	133	74	48	305	373	1,947	224	354	125	47	36	3,666
	割合 (%)	(3.6)	(2)	(1.3)	(8.3)	(10.2)	(53.1)	(6.1)	(9.7)	(3.4)	(1.3)	(1)	(100)
	学級数	8	4	4	11	18	85	9	15	8	5	5	172
	教職員数	17	12	11	26	51	189	20	25	16	16	13	396

注①: 学級数は少人数学級編制実施を含む数

注②: 割合は児童生徒数の全体に占める割合

2 児童・生徒数の推移



(1) 小学校

年度	児童数	年度	児童数	年度	児童数
46	15,889	63	11,257	17	8,122
47	14,384	元	11,092	18	8,049
48	13,556	2	10,880	19	8,021
49	13,129	3	10,832	20	8,003
50	12,647	4	10,851	21	7,908
51	12,076	5	10,856	22	7,825
52	11,655	6	10,763	23	7,759
53	11,466	7	10,664	24	7,711
54	11,559	8	10,486	25	7,648
55	11,517	9	10,117	26	7,658
56	11,719	10	9,811	27	7,674
57	11,746	11	9,416	28	7,729
58	11,862	12	9,162	29	7,805
59	11,974	13	8,983	30	
60	11,898	14	8,685	31	
61	11,692	15	8,479	32	
62	11,413	16	8,290	33	

(2) 中学校

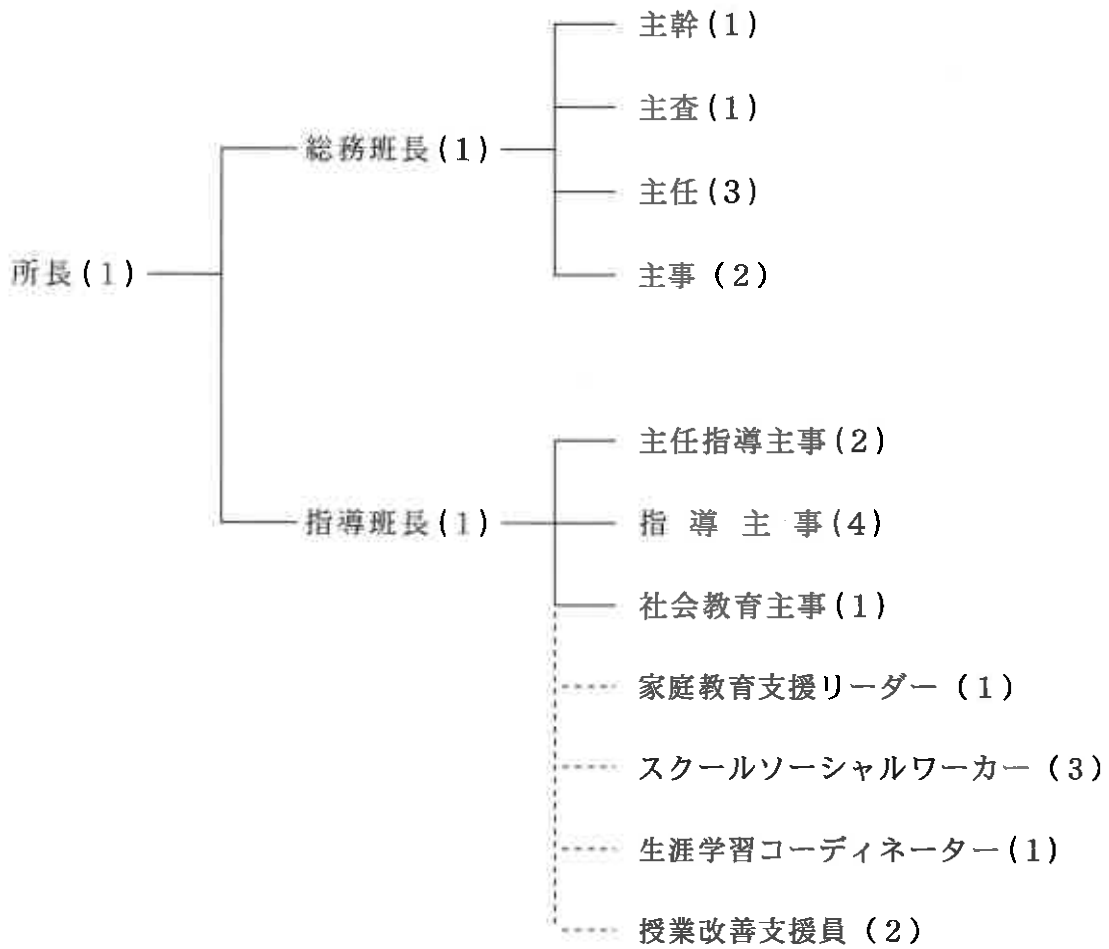
年度	生徒数	年度	生徒数	年度	生徒数
46	9,753	63	5,999	17	4,484
47	9,361	元	5,865	18	4,381
48	8,903	2	5,763	19	4,269
49	8,562	3	5,605	20	4,143
50	7,842	4	5,543	21	4,067
51	7,485	5	5,387	22	3,964
52	7,010	6	5,392	23	3,898
53	6,610	7	5,314	24	3,881
54	6,127	8	5,276	25	3,942
55	5,926	9	5,321	26	3,958
56	5,737	10	5,436	27	3,893
57	5,747	11	5,534	28	3,755
58	5,521	12	5,427	29	3,666
59	5,484	13	5,189	30	
60	5,572	14	4,941	31	
61	5,819	15	4,745	32	
62	6,029	16	4,615	33	

3 沿 革

昭和 47 年 05 月 15 日	沖縄県教育庁組織規則第 13 条により教育庁国頭教育事務所を名護市字名護 1617 番地に設置し、所管区域を国頭、大宜味、東、今帰仁、本部、名護、宜野座、金武、伊江、伊是名、伊平屋の各市町村とする
初代所長	宮城剛信 氏就任
	教育事務所に庶務課及び指導班を置き、職員を次のように配置 所長、次長、庶務課長、庶務係5名、人事係5名、指導主事5名、 訪問教師2名、社会教育主事1名、運転士1名、計21名
昭和 48 年 04 月 01 日	第2代所長 新里孝市 氏就任 次長制が廃止 指導班が指導課となり、課長をおく 人事係に主査をおく
昭和 49 年 04 月 01 日	派遣社会教育主事制度創設
昭和 50 年 04 月 01 日	第3代所長 富名腰義幸 氏就任 訪問教師(充指導主事)制廃止
昭和 52 年 04 月 01 日	庶務係に主査をおく
昭和 53 年 04 月 01 日	第4代所長 岸本実 氏就任 教育庁定数の変更に伴い事務主事1名減
昭和 54 年 04 月 01 日	へき地教育担当の指導主事配置
昭和 55 年 03 月 12 日	国頭教育事務所 新庁舎落成(名護市字名護 1617)
昭和 56 年 04 月 01 日	第5代所長 喜屋武清昭 氏就任
昭和 57 年 04 月 01 日	派遣社会教育主事1名配置
昭和 57 年 07 月 01 日	派遣社会教育主事(スポーツ担当)1名配置
昭和 58 年 02 月 23 日	防災行政用無線電話開設
昭和 59 年 01 月 10 日	国頭地区教育行政連絡会発足
昭和 59 年 06 月 01 日	沖縄県巡回教育相談員制度設置に伴い教育相談委員2名委嘱
昭和 60 年 03 月 31 日	「あしあと」第2集(昭和47年～昭和59年)発刊
昭和 60 年 04 月 01 日	第6代所長 具志堅興徳 氏就任 沖縄国体(昭和62年開催)事務局設置に伴い事務主事1名減
昭和 62 年 03 月 06 日	土地(庁舎敷地) 3,337 m ² 名護高校より所管換え
昭和 62 年 04 月 01 日	初任者研修制度試行される。(実施指定校、大北小、名護小、 名護中、東江中)
昭和 62 年 08 月 01 日	語学指導を行う外国青年招致事業により英語指導助手配置
昭和 63 年 06 月 01 日	兼任指導主事制度発足
平成 元年 04 月 01 日	生徒指導相談員配置 小学校初任者研修制度本格実施(実施校16校)
平成 元年 04 月 日	長寿学園発足
平成 02 年 04 月 01 日	第7代所長 山里全用 氏就任 中学校初任者研修制度本格実施
平成 02 年 09 月 01 日	東村高江中学校県費負担事務職員配置
平成 03 年 04 月 01 日	新財務システム導入により経理の電算化実施 運転士を廃し事務主事を配置 国頭村立奥中学校、楚洲中学校、名護市立天仁屋小学校、三原小学校、 伊平屋村立野甫中学校の5校に県費負担事務職員配置
平成 03 年 05 月 26 日	月の第2、第4土曜日閉庁
平成 04 年 04 月 01 日	大宜味村、東村、派遣指導主事配置により管内11市町村教育委員会 指導主事完全配置
平成 04 年 07 月 22 日	県教育長津留健二と語る地域懇談会開催
平成 04 年 09 月 01 日	沖縄県の休日定める条例の一部改正に伴い完全週休2日制実施 公立学校職員完全週休2日制実施

平成 04 年 09 月 06 日 教育職員完全週休2日制実施
 平成 04 年 09 月 12 日 月1回の学校週5日制実施
 平成 05 年 04 月 01 日 第8代所長 玉城勝郎 氏就任
 平成 05 年 11 月 24 日 北部合同庁舎へ移転業務開始
 平成 07 年 03 月 31 日 「あしあと」第3集(昭和60年～平成6年)発刊
 平成 07 年 04 月 01 日 月2回の学校週5日制実施
 名護市嘉陽小学校に県費負担事務職員配置
 平成 08 年 04 月 01 日 第9代所長 金城龍生 氏就任
 教職員住宅(学校別住宅を除く)の管理事務が所掌事務となる
 管内市町村(伊平屋, 伊是名を除く)に教育相談員配置
 学校カウンセラー配置(名護中学校)
 平成 08 年 05 月 24 日 TT加配校連絡協議会発足
 平成 09 年 02 月 26 日 北部地区社会教育主事協会発足
 平成 10 年 04 月 01 日 第10代所長 永山寛雄 氏就任
 平成 10 年 06 月 11 日 県教育委員国頭管内学校視察
 平成 10 年 11 月 24 日 国頭地区学校運営協議会(安室肇県教育長来所)
 平成 11 年 01 月 日 新人事管理システム稼働
 平成 11 年 02 月 03 日 国頭地区青少年健全育成市町村民会議発足
 平成 11 年 07 月 07 日 生涯学習ボランティアコーディネーター配置
 平成 12 年 05 月 13 日 小中学生サミット in Okinawa (やんばる自然体験)実施
 平成 13 年 02 月 03 日 県立高校編成整備地区協議会発足
 平成 13 年 04 月 01 日 第11代所長 宮里博輝 氏就任
 平成 14 年 04 月 01 日 学習指導要領の完全実施
 学校完全週5日制の実施
 平成 14 年 04 月 17 日 沖縄県生涯学習コーディネーター配置
 平成 16 年 04 月 01 日 第12代所長 大城康正 氏就任
 平成 16 年 09 月 02 日 県教育委員国頭管内学校視察
 平成 18 年 05 月 25 日 県教育長仲宗根用英 氏国頭管内学校視察
 平成 19 年 04 月 01 日 第13代所長 渡久地健 氏就任
 平成 20 年 04 月 01 日 フラット制導入に伴い課制廃止, 班制導入
 平成 20 年 09 月 05 日 県教育委員国頭管内教育事情視察
 平成 21 年 04 月 01 日 第14代所長 仲本輝雄 氏就任
 平成 21 年 08 月 24 日 県教育長金武正八郎 氏訪問
 平成 22 年 04 月 01 日 スクールソーシャルワーカーを2名配置
 平成 23 年 04 月 01 日 第15代所長 新島満 氏就任
 平成 23 年 06 月 03 日 県教育長大城浩 氏国頭管内学校訪問
 平成 24 年 04 月 01 日 学習指導要領(平成 20 年 03 月告知)の完全実施
 平成 24 年 08 月 28 日 中学生いきいきサポート相談員配置(沖縄振興特別推進交付金)
 平成 25 年 04 月 01 日 第16代所長 金城聰 氏就任
 平成 26 年 01 月 24 日 県教育長 諸見里 明氏管内学校訪問(東江小, 名護小)
 平成 26 年 04 月 04 日 小中アシスト相談員配置
 平成 26 年 07 月 15 日 県教育長 諸見里 明氏管内学校訪問(喜如嘉小, 北国小, 大宜味中, 緑風学園)
 平成 27 年 03 月 26 日 第20回日教弘教育賞 最優秀賞受賞(個人の部)
 宜野座村立松田小学校 具志堅恵子 教諭
 平成 27 年 04 月 01 日 第 17 代所長 友寄隆央 氏就任
 平成 27 年 06 月 08 日 授業改善支援員配置
 平成 28 年 04 月 01 日 家庭教育支援リーダー配置
 名護商業住宅, 名護特別支援住宅(A棟, B棟)が地区別住宅に変更された
 平成 29 年 04 月 01 日 第 18 代所長 神山英輝 氏就任

4 国頭教育事務所の組織



※ () 内の数字は人数を示しています。

5 業務内容及び事務分掌

(1) 業務内容（「沖縄県教育庁組織規則第13条第4項」による教育事務所の事務）

- ① 文書の収受，発送及び保管に関すること。
- ② 公印の管守に関すること。
- ③ 県費負担教職員の給料その他の給与，旅費等の認定及び支払に関すること。
- ④ 県費負担教職員の任免その他の進退に関すること。
- ⑤ 市町村立小学校，中学校及び幼稚園の学校教育についての指導及び助言に関すること。
- ⑥ 社会教育に関すること。
- ⑦ 市町村立小学校，中学校の体育，学校保健及び学校給食に関すること。
- ⑧ 教職員の免許状の手続きに関すること。
- ⑨ 予算，決算その他の会計事務に関すること。
- ⑩ 市町村教育委員会の指導及び連絡調整に関すること。
- ⑪ 教職員住宅（学校別住宅を除く）の管理に関すること。
- ⑫ 前各号に定めるもののほか，所管区域内の教育に関すること。

(2) 事務分掌

①総務班事務分掌

平成29年4月1日現在

職名	氏名	分掌事項
班長	オオシロ タケシ 大城 健	<ul style="list-style-type: none"> ・班内事務の総括に関する事 ・公印の管守、文書（システム・親展文書）及び庁舎の管理に関する事 ・県費負担教職員（管理職、学校栄養職員、事務職員）の人事に関する事 ・職員の服務及び勤務管理システムに関する事 ・市町村教育委員に関する事 ・叙勲に関する事（主） ・出納員、資金前渡職員の事務に関する事 ・教育事務所要覧に関する事 ・管理職試験に関する事 ・定期監査に関する事（副） ・教職員評価システムに関する事（主） ・学校事務職員の研修に関する事（副） ・学校事務の共同実施に関する事（副）
主幹	シマカワ ナオキ 島川 直樹	<ul style="list-style-type: none"> ・県費負担教職員の任免、分限、懲戒その他に関する事（主） ・県費負担教職員の人事に関する事（小主・中副） ・学級編制及び教職員定数に関する事 ・職員の服務に関する事（副） ・市町村教育委員会に関する事（副） ・教職員名簿保管に関する事 ・教職員の新規採用に関する事（主） ・教職員認定講習に関する事（主） ・休職に関する事 ・教職員評価システムに関する事（副・新採用） ・教員免許更新制に関する事（主）
主査	トケン ヤスシ 渡慶次 靖	<ul style="list-style-type: none"> ・県費負担教職員の臨時的任用に関する事 ・臨時的任用者の辞令及び発令通知書に関する事 ・臨時的任用者の給与査定に関する事 ・県費負担教職員の人事に関する事（中主・小副） ・教職員認定講習に関する事（副） ・免許教科外担任許可に関する事 ・教職員の新規採用に関する事（副） ・教職員（臨時的任用含む）の実数月例報告に関する事 ・病休・産休・育休等に関する事 ・教員免許更新制に関する事（副） ・教職員評価システムに関する事（臨任）
主任	ゲンカ ノリヒサ 源河 範久	<ul style="list-style-type: none"> ・支出に関する事 ・予算決算の総括に関する事 ・特別職に属する非常勤職員の報酬、費用弁償に関する事 ・備品等の事務に関する事 ・公用車の整備に関する事 ・郵便切手等の受払いに関する事 ・事務所職員の福利厚生に関する事 ・共済組合・公務災害に関する事 ・出勤簿及び休暇等簿等の整理に関する事 ・事務所職員の給与事務に関する事 ・学校事務職員の研修に関する事（主） ・学校事務共同実施に関する事（主） ・地方教育費調査に関する事 ・その他庶務に関する事
主任	オオシロ ヤスシ 大城 康史	<ul style="list-style-type: none"> ・県費負担教職員の給与査定に関する事（中主、小副） ・定期昇給に関する事（中主、小副） ・復職時等給与調整に関する事（中主、小副） ・昇給台帳の作成保管に関する事（中主、小副） ・諸証明書（在職、履歴事項等）の発行に関する事（中主、小副） ・住居、通勤、単身赴任手当に関する事（中主、小副） ・特別支援学級認定に関する事（中主、小副） ・期末勤勉手当に関する事（中 1/2） ・退職手当に関する事（中主、小副及び事務局含む） ・社会保険事務に関する事（中主、小副及び事務局含む） ・住民税に関する事（中主、小副） ・年末調整に関する事（中 1/2） ・特別職に属する非常勤職員の報酬、費用弁償に関する事（中主、小副） ・県費負担教職員の人事に関する事（中副） ・叙勲に関する事（副） ・事務所職員の住居、通勤手当の認定に関する事 ・公文書の收受、発送及び保管（文書管理システム含む）に関する事（副） ・事務所職員の旅費に関する事 ・定期監査に関する事（主） ・マイナンバーに関する事

職名	氏名	分掌事項
主任	ムラサキ ショウコ 村口 祥子	<ul style="list-style-type: none"> ・給与事務に関すること（小主 中副） ・旅費事務に関すること（小主 中副） ・旅費、時間外勤務手当割当調整に関すること（小主 中副） ・所得税に関すること（小主 中副） ・扶養手当、児童手当認定に関すること（小主 中副） ・多学年学級担当者の確認事務に関すること（小主 中副） ・へき地手当に準ずる手当の認定に関すること（小主 中副） ・調査統計報告事務に関すること（主）
主事	シンザト タカユキ 新里 貴之	<ul style="list-style-type: none"> ・給与事務に関すること（中主、小副） ・旅費事務に関すること（中主、小副） ・旅費、時間外勤務手当割当調整に関すること（中主、小副） ・所得税に関すること（中主、小副） ・扶養手当、児童手当認定に関すること（中主、小副） ・多学年学級担当者の確認事務に関すること（中主、小副） ・へき地手当に準ずる手当の認定に関すること（中主、小副） ・調査統計報告事務に関すること（副） ・学校事務要領に関すること ・事務所職員の扶養及び児童手当に関すること ・教職員住宅に関すること（入退居管理、毎月入居料調定等） ・情報推進リーダーに関すること（副）
主事	トウヤマ タケキ 當山 武幸	<ul style="list-style-type: none"> ・県費負担教職員の給与査定に関すること（小主、中副） ・定期昇給に関すること（小主、中副） ・復職時等給与調整に関すること（小主、中副） ・昇給台帳の作成保管に関すること（小主、中副） ・諸証明書（在職、履歴事項等）の発行に関すること（小主、中副） ・住居、通勤、単身赴任手当に関すること（小主、中副） ・特別支援学級認定に関すること（小主、中副） ・期末勤勉手当に関すること（小 1/2） ・退職手当に関すること（小主、中副） ・社会保険事務に関すること（小主、中副） ・住民税に関すること（小主、中副） ・年末調整に関すること（小 1/2） ・特別職に属する非常勤職員の報酬、費用弁償に関すること（小主、中副） ・県費負担教職員の人事に関すること（小副） ・公文書の収受、発送及び保管（文書管理システム含む）に関すること（主） ・会計証拠書類の整理保管に関すること
		<p>※非常勤職員の報酬、費用弁償について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○源河範久・・・スクールカウンセラー、小中アシスト相談員、 ○大城康史・・・スクールソーシャルワーカー、授業改善支援員（2名） ○當山武幸・・・生涯学習コーディネーター、家庭教育支援リーダー

② 指導班事務分掌

職名	氏名	教科等	事務内容	備考
班長	なかだきんご 仲田 欣五 nakadakn@pref.okinawa.lg.jp	保健・体育	◎指導班統括 ○教育施策 ○国頭教育フロンティアプラン推進 ○学校経営 ○週案 ○入学・卒業式 ○周年事業 ○学籍・指導要録 ○就学事務・帰国子女教育 ○小中連携・中高連携 ○指導主事補関連 ○表彰・推薦 ○児童生徒活躍状況調査 ○学力向上推進(学力向上マネジメント部会) ○文科省学力調査官との調整(委員会との対応) ○大学・教育研究所・教育センター等関連 ○市町村教育長連絡協議会○県教委国頭地区協議会	事務所要覧 学校管理規則 中体連
主任指導主事	とくちまさたか 渡久地 政孝 togucma@pref.okinawa.lg.jp	社会 総合的な学習 生活	◎生徒指導・教育相談統括 ○スクールソーシャルワーカー事業 ○小中アシスト相談員事業 ○平和・人権教育 ○金銭教育 ○健康・体育 ○学校保健 ○食育・学校給食 ○安全教育 ○養護教諭・栄養教諭等研修 ○生徒指導・教育相談訪問 ○校長研修会・校長会	研究指定校 (食育)
主任指導主事	まつだ 松田 しずか matsus@pref.okinawa.lg.jp	特 活 (算 道) 数 徳	◎学力向上推進統括 ◎全国学調・県到達度調査(主) ◎学力向上推進委員会・企画委員会 ◎学校支援訪問(県学力向上推進室)○学校評価 ◎教職員研修事業計画 ○授業改善支援員事業(算) ◎授業改善推進教師関連(算) ◎ブロック型研究会(算) ○幼稚園教育(副) ◎教頭研修会・教頭会	研究指定校 (算数)
社会教育主事	うえち じゆん 上地 潤 uechijun@pref.okinawa.lg.jp	体 育 工 術 美	◎生涯学習・社会教育 ○広域学習サービス講座 ○青少年健全育成 ○地域連携事業 ○読書活動 ○家庭教育支援 ○学力向上推進(社会協働会) ○スクールカウンセラー事業 ○教職5年経験者研修 ○小学校体育専科加配事業 ○地区指導主事等研修会 ○全県指導主事会	社会教育 関連団体 やんばる主事 会 研究指定校 (体育)
指導主事	かみやま よしあき 神山 吉明 kamiymys@pref.okinawa.lg.jp	数 学 数	◎教育課程・指導計画 ○研究指定校(窓口) ○全国学調・県到達度調査(副) ○要請訪問(副) ○学校支援訪問(国頭教育事務所) ○学力向上推進(学習支援部会) ○主幹教諭関連 ◎授業改善推進教師関連(数) ○10年経験者研修 ◎ブロック型研究関連(数) ○教務主任研修会	研究指定校 (数学) こだまの会
指導主事	あはごんあけみ 阿波根 明美 ahagonak@pref.okinawa.lg.jp	外 国 語 音 楽	◎国際理解教育・外国語教育 ○特別支援教育(副) ◎へき地教育・へき地校計画訪問 ○初任者研修(副) ○教職2年目研修 ○ブロック型研究関連(英) ○英語力アップ研修 ○授業改善推進教師関連(英) ○臨時的任用教諭研修会 ○赤十字・ユネスコ	中文連
指導主事	まえかわ つねひさ 前川 恒久 maekawts@pref.okinawa.lg.jp	理 科 道 徳	◎特別支援教育 ◎道徳教育 ◎県Webシステム ○情報教育・ホームページ ○環境教育 ○教科担当者研修会(窓口) ◎初任者研修(主) ○小学校理科専科加配事業	研究指定校 (道徳)
指導主事	たましろ ふみえ 玉城 史江 tmshirof@pref.okinawa.lg.jp	国 語 技 術 ・ 家 庭	◎要請訪問・校内研修 ◎幼稚園教育 ○あいさつ・祝辞 ◎授業改善支援員事業(国語) ○授業改善推進教師関連(国語) ○教科書・教材関係 ○司書教諭・図書館主任関連 ○研究主任研修会 ○教職3年目研修 ○キャリア教育 ○集団宿泊的学習 ○高校入試関連	

③〔家庭教育支援リーダー〕

氏 名	業 務 内 容
仲宗根 直 恵	基本的な生活習慣の確立や規範意識の向上など、家庭教育の改善充実を図るため、地域における家庭支援活動の企画・運営のコーディネートや地域人材の資質向上の支援を行うとともに、「家一なれ一運動」を推進する。

④〔スクールソーシャルワーカー〕

氏 名	業 務 内 容
具志堅 千鶴子 辺土名 美佐子 辺土名 喜美枝	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う。

⑤〔生涯学習コーディネーター〕

氏 名	業 務 内 容
友 寄 尚 子	広域学習サービス講座の企画運営、事業実施機関相互の連携協力、生涯学習情報の提供、学習相談・ボランティア相談に関すること、事業の評価、学習修了者の社会参加の促進等に係る業務を行う。

⑥〔授業改善支援員〕

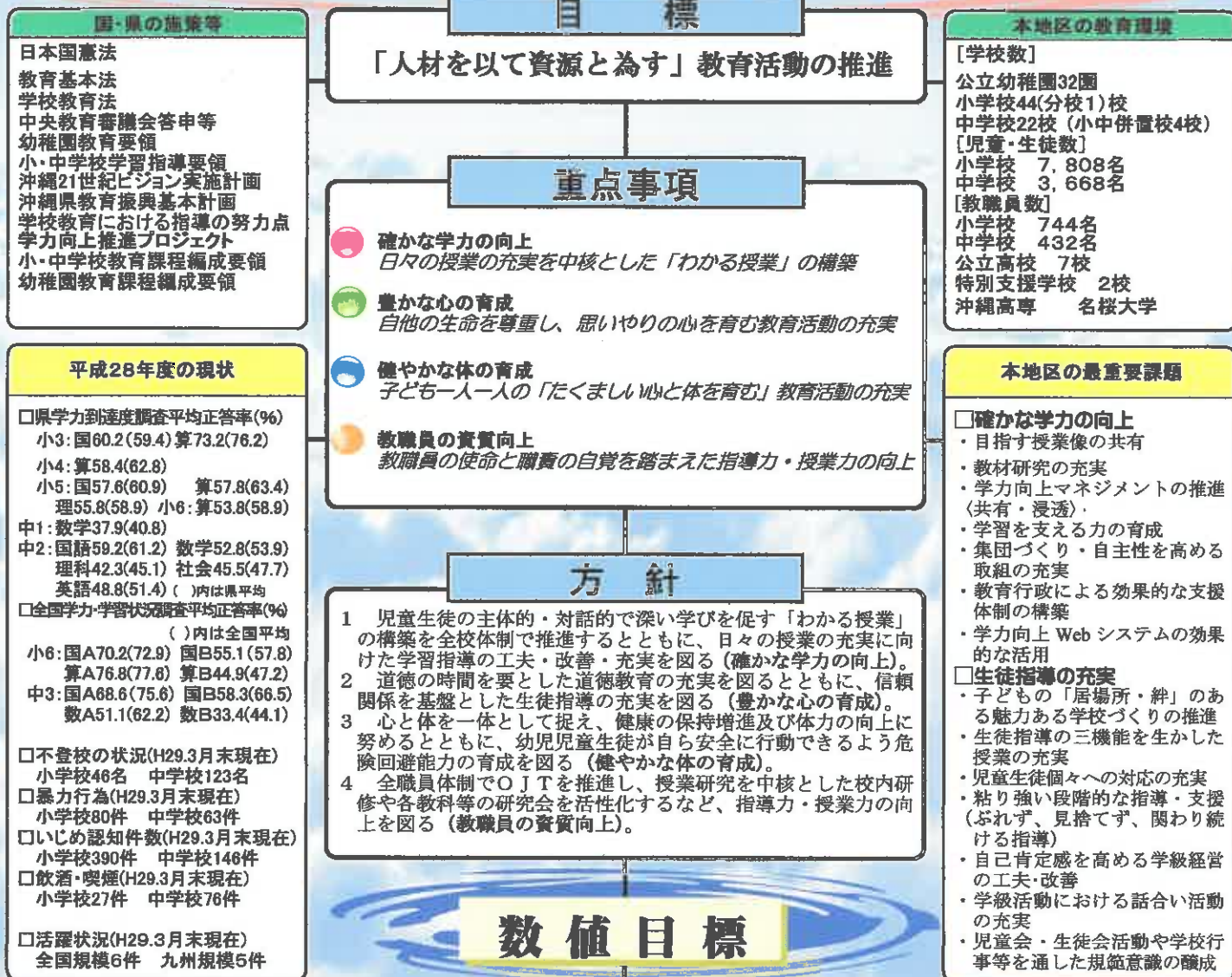
氏 名	業 務 内 容
岸 本 邦 子 具 志 順 子	教員の学習指導等に関する授業構想の支援及び授業観察・助言、児童生徒の学習支援、教員相互並びに管理職との連携等に係る業務を行う。

⑦〔指導主事補〕

	氏 名	所 属	担当教科	業 務 内 容
小 学 校	徳 山 章 子	宜野座小学校	国 語	学校現場において、教育事務所長の指示を受け、管内の小・中学校その他の研究団体等の学力向上推進に係る教科等に関する指導・助言を行う。
	酒 井 里 美	大 宮 小 学 校	国 語	
	謝 花 しのぶ	大 北 小 学 校	国 語	
	島 田 綾 子	大 宮 小 学 校	算 数	
	玉 城 奈美子	東 江 小 学 校	算 数	
	森 元 三奈子	屋我地小学校	算 数	
	比 嘉 俊 輔	東 江 小 学 校	体 育	
	西 銘 かおる	東 小 学 校	道 徳	
中 学 校	高 良 恵	今帰仁中学校	国 語	
	宮 城 政 樹	名 護 中 学 校	数 学	
	上 里 喜 史	羽 地 中 学 校	数 学	
	池 間 和 子	羽 地 中 学 校	音 楽	
	澤 正 仁	羽 地 中 学 校	美 術	
	伊志嶺 力	今帰仁中学校	技 術	
	新 里 久美子	東 江 中 学 校	家 庭	
	根路銘 国 太	国 頭 中 学 校	道 徳	

6 平成29年度 国頭教育フロンティアプラン

未来を切り拓くやんばるっ子



● 豊かな心の育成 1 不登校ゼロまたは前年比一割減を目指す。 2 いじめの解消率 100%を目指す。 3 暴力行為の発生が前年度比で一割減を目指す。 4 「道徳の時間」において、全内容項目の実施率 100%を目指す。 5 「自分には、よいところがあると思いますか」の調査項目の肯定割合が 80%に到達する。	● 確かな学力の向上 1 全国学力調査、全学校全国平均以上に到達する。(小学校) 2 全国学力調査、全学校全教科全国平均との差が5ポイント以内に到達する。(中教) 3 県学力到達度調査、小中学校全学校県平均に到達する。 4 全教科、全学級の授業実施時数の確保率が100%に到達する。	● 健やかな体の育成 1 命に関わる重大事件・事故の発生件数ゼロを目指す。 2 体力・運動能力調査、泳力調査において県平均に到達する。 3 「朝食を毎日食べていますか」の調査項目で肯定割合が95%に到達する。 4 「毎日、同じ時刻に寝ていますか」の調査項目で肯定割合が80%に到達する。
● 教職員の資質向上 1 全教師が指導案作成の公開(研究)授業を年1回以上実施する。 2 校長・教頭による授業観察を1日1回以上実施する。		

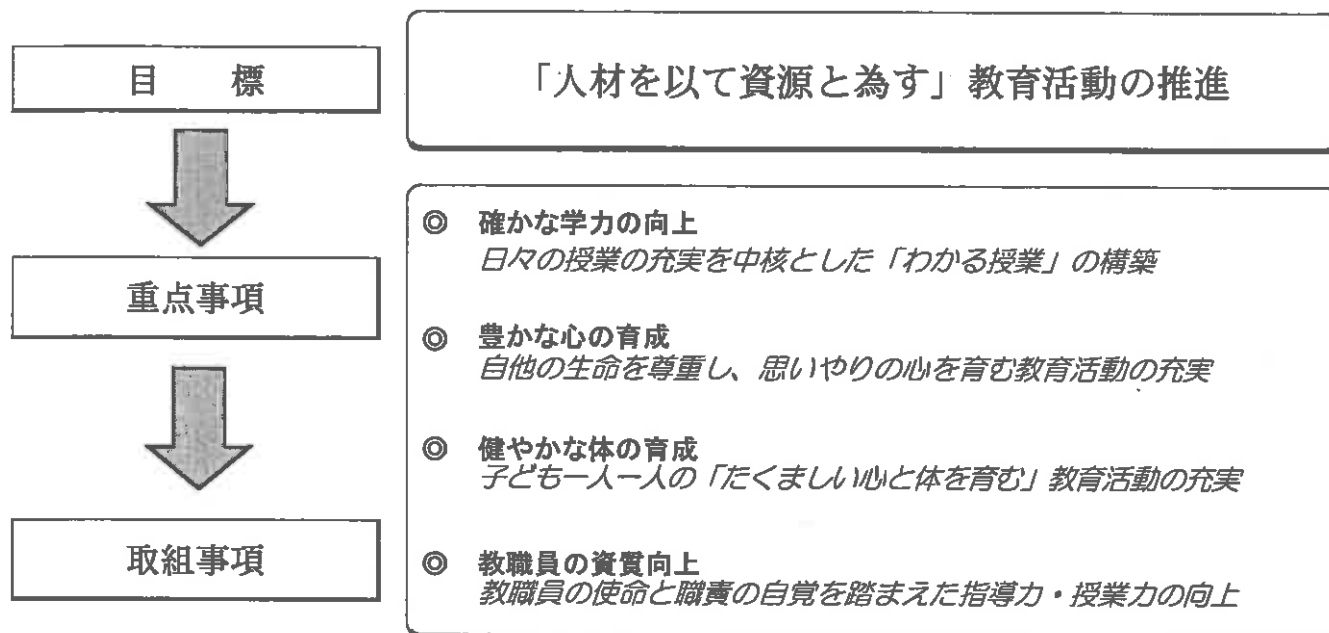
取組事項

● 豊かな心の育成 1 道徳教育の充実 2 生徒指導の充実 3 キャリア教育の充実 4 特別活動の充実 5 特別支援教育の充実 6 人権教育の充実 7 平和教育の充実 8 環境教育の充実	● 確かな学力の向上 1 教育課程の効果的な推進 2 学習指導の工夫・改善・充実 3 国際理解教育・外国語教育の推進 4 情報教育の充実 5 へき地教育の充実	● 健やかな体の育成 1 たくましい心と体を育む教育の推進 2 食育の推進 3 学校安全・防災教育の推進
● 教職員の資質向上 1 学年会・教科会の充実 2 授業研究会の充実 3 校種間の連携 4 各種研修会への参加・派遣		
◎ 幼稚園教育の充実 1 教育課程の効果的な推進 2 基本的な生活習慣の形成 3 研修(園内・合同研修等)の充実		

◎ 生涯学習・社会教育の充実 「家～なれ～運動」(親の学び合いプログラム)の推進

7 平成29年度 指導行政の重点・取組事項

本県教育の目標を達成するために「沖縄県教育振興基本計画」並びに「学校教育における指導の努力点」・「学力向上主要施策『学力向上推進プロジェクト』」に基づき、平成29年度における管内教育行政の重点・取組事項を次の通り定め、これを推進し教育の充実に努める。



<総務班>

1 市町村教育委員会との連絡、提携の緊密化

○市町村教育委員会との連絡会議の開催 H28 2回 → H29 2回

2 事務の合理化と適確迅速な処理

○諸帳簿の学校間相互点検 H28 2回 → H29 2回
○公文書のペーパーレス化 H25～ 実施（公印のある親展文書等を除く）

3 学校事務職員の資質の向上

○学校事務職員研修 H28（全体3回 新・臨任4回）→ H29（全体3回 新・臨任4回）
○学校事務職員共同実施研修 H28 7市町村 → H29 7市町村

4 教職員人事の適正配置と円滑な交流

○管理職及び教員等の選考試験、定期人事異動等における円滑な交流を実施

5 教職員評価システムの充実

○教職員評価システム研修の実施
評価システムⅠ H28（校長1回 教頭1回）→ H29（校長1回 教頭1回）
評価システムⅡ H28（校長1回 教頭1回）→ H29（校長1回 教頭1回）

6 服務規律に係る研修の充実

○コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修の実施
コンプライアンス研修 H28 10回 → H29 10回
メンタルヘルス研修 H28 3回 → H29 3回

7 学校現場における業務改善の推進

○国頭地区教職員業務改善推進会議 H28 2回 → H29 3回

第1章 幼稚園における指導の取組事項

1 教育課程の効果的な推進を図る

- (1) 幼稚園の実態に応じて重点目標を設定し、その目標を達成するために必要な取組や指標等を評価項目として設定し、自己点検・自己評価を行う。
- (2) 学校評価の結果を保護者や地域の人々に積極的に公表するとともに、学校評価を生かした教育課程の改善を実施し、幼稚園教育の質の向上に努める。
- (3) 公立幼稚園（地域の実態に応じて小学校）が結節点となり、私立幼稚園、保育所、認定こども園等の就学前教育施設間の連携を図るとともに、小学校との連携体制を構築し、幼児教育と小学校教育の円滑な接続をめざす「沖縄型幼児教育」を推進する。
- (4) 保幼小連絡協議会を設置し、保幼小合同研修会や幼児・児童の交流活動等を通して、互いの教育に対する理解を深め、アプローチカリキュラムや保幼小連携年間計画を作成する。

2 環境を通して行う教育の充実を図る

- (1) 幼児一人一人が安定した園生活を送ることができるよう、教師相互の共通理解のもと、教師と幼児の信頼関係、幼児同士の好ましい人間関係づくりをする。
- (2) 幼児の発達や活動の広がりに合わせて、安全に配慮しながら屋内や屋外における空間、遊具、用具等を配置し、活用する。
- (3) 「やってみよう」という意欲や「なぜ」「どうして」という疑問など、試行錯誤する姿を大切にし、じっくり取り組める場所や時間を確保する。
- (4) 家庭や地域と連携するとともに、地域の人材や自然、公共施設などを積極的に活用する。

3 遊びを通じた総合的な指導の充実を図る

- (1) 心と体の健康は密接な関連があることを踏まえ、幼児が温かい触れ合いの中で自己の存在感や充実感を味わうなど、しなやかな心と体の発達を促す遊びや園生活を工夫する。
- (2) 幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度など「学びの基礎力」を培う。
- (3) 幼児一人一人の生活経験が異なることを考慮して、幼児の発達に必要な体験を意図的・計画的に取り入れ、個に応じたきめ細かな指導を行う。

4 基本的な生活習慣の形成を図る

- (1) あいさつや片付け等の習慣化を図るため、教師自身がモデルとなるとともに、家庭と連携し、指導の工夫をする。
- (2) 園生活の中で、危険な遊び方や場所、災害時などの行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動できるよう指導の工夫をする。
- (3) 一人一人の発達の特性及び個のよさを生かした仲間づくりや学級集団を形成しながら、きまりを守ったり、我慢をしたり、友だちを思いやる等、人と関わる力などの道徳性の芽生えを培う援助を工夫する。

5 園内研修の充実を図る

- (1) 教育課程研究協議会や各種研修会等の研修成果を園内研修で共通理解するとともに、実践を共有化する。
- (2) 保育実践においては、保育記録を基に教師間で日常的な情報交換を行うとともに、保育カンファレンス等を通して幼児理解を深める。
- (3) 単学級や少人数の幼稚園においては、近隣の幼稚園との合同研修等を行う。

◇幼稚園教育の実態に関する調査（H28年5月調査）

ア 副園長及び教頭等の配置	17.6%	イ 預かり保育の実施	52.9%
ウ 自己評価の実施	97.0%	エ 学校関係者評価の実施	79.4%
オ 幼小連携（合同研修）	100%	カ 給食の実施	100%
キ アプローチカリキュラムの作成	85.3%	ク 臨時職員の勤務形態（夏休みの継続任用）	90.9%

※文部科学省幼稚園教育理解推進事業

園長等運営管理協議会	H28・9・16 実施
幼稚園教育課程研究協議会	H28・10・28 実施

第2章 小学校・中学校における指導の取組事項

I 確かな学力の向上

1 教育課程の効果的な推進

(1) 教育課程編成の原則を踏まえる

- ① 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力が育まれるような教育の充実に努める。

(2) 教育課程編成・実施に係る指導計画(学校経営計画書・各教科等年間指導計画)の充実を図る

- ① 教育課程の「量」と「質」の完全確保に努める。

(3) 教育課程の評価・改善の充実を図る

- ① PDCAサイクルに基づく教育課程の実施状況等の自己点検・自己評価を実施し、常に教育課程の改善と充実に努める。

2 学習指導の工夫・改善・充実

(1) 指導体制の改善・充実を図る

- ① 「わかる授業」を構築するためには、教師一人一人の教材理解と児童生徒の実態に応じた効果的な指導方法について日常的な研修が必要となる。そのためには、教師が主体的に研究や研修に参画し、授業力の向上を図るとともに、研修成果の共有化と、波及させることができる研修システムを構築する。
- ② 校内研究の充実を図るため、指導案の作成や授業研究等を学年会、教科部会及び学校全体で行い、日常的に授業づくり等について広く意見交換を行うなど、より効果的な指導が行える体制を構築する。
- ③ 授業改善の支援に当たっては、校長、副校長及び教頭が授業に参加したり、助言を行ったりすることや、教科指導に優れた教師、経験豊かな教師が他の学級に協力するなど、様々な工夫を行う。
- ④ 指導の効果を高めるため、外部の専門家等の地域教育資源を活用し、授業への参加・協力を得ることなどの工夫を行う。
- ⑤ 「地区別ブロック型研究」を中心として、その成果を校内で波及させ、授業改善を積極的に推進する。「指導方法等工夫改善に係る加配教員」や「授業改善推進教師(アドバイザー)」等の配置校においては、効果的な活用を図り、校内の授業改善を推進しつつ、成果を発信することに努める。
- ⑥ 孤軍奮闘することなくチームワークを大切にし、常にチームによる教育活動を進め、個々の学級経営をお互いに支えながらしっかりとつなぎあうことで、学年経営の充実による共通実践に努める。
- ⑦ 知徳体のバランスのとれた教育活動が行われるよう、全職員が校長の経営ビジョンへ向かい、PDCA マネジメントサイクルに基づき推進する。
- ⑧ 児童生徒の家庭における学習時間を確保するため、小学校でのスポーツ少年団や、中学校の部活動における終了時刻厳守、定期テスト1週間前程度の活動停止期間の設定等の取組を推進する。
- ⑨ 学力向上 WEB システムを有効活用し、子どもの学びを検証し、補充して、保障する。

(2) 指導方法の改善・充実を図る

- ① キャリア教育の視点を踏まえて、学校、家庭、社会との連携を円滑にし、夢や希望を持たせる取組を行い、児童生徒に「学ぶ意義」を実感させる。また、「なりたい自分」「なれる自分」を広げる授業をつくり、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。
- ② 『わかる授業 support Guide』や「授業基本事項」を活用して、日頃の授業を見直し、授業改善を図る。
- ③ 児童生徒に基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、活用する力を育成するために、授業と連動させた宿題の与え方等を工夫するなど、児童生徒の主体的な態度を育成する。
- ④ 児童生徒の思考力、判断力、表現力等を育む観点から、言語に関する能力の育成を図る上で必要な「言語活動の充実」を各教科等で取り入れる。
- ⑤ 予想や見通しを立てたり、実際に確かめたり、比較・分類したり、考察したりするなどの問題解決的な学習や表現したり、活動を振り返ったりするなどの活動を工夫する。
- ⑥ 「全国学力・学習状況調査」や「県学力到達度調査」の分析結果と、各校の年間指導計画の編成に生かしつつ、日常の授業に反映させる。特に、思考力・判断力・表現力の育成のため、各種調査・資料を活用した授業づくりの取組を推進する。
- ⑦ 「めあて」と正対した「まとめ・振り返り」、「1単位で完結する授業の徹底」「児童の思考を促す発問」などの日常からの授業改善を図るために、具体的な取組の工夫を行う。
- ⑧ 週案を効果的に活用し、授業時数の確保だけでなく、より「わかる授業」の改善へつなげる。
- ⑨ 基礎的・基本的な知識・技能習得のためのスパイラルな指導の充実を図るとともに、家庭での学

習方法等を具体例を挙げながら指導する。

※平成28年度要請訪問まとめより（訪問した指導主事による評価）

◎よい ○まあよい △あまりよくない ×よくない (%)

- ◇1 児童生徒の発達段階に応じた学習規律の指導が確立されている。

小	64(61)	28(34)	9(5)	0-
中	39(50)	45(39)	14(9)	2-

- ◇2 身につけさせたい力を踏まえたねらい、めあてを設定、「めあて」と連動した「まとめ・振り返り」をしている。

小	26(13)	53(64)	18(18)	4(1)
中	9(7)	51(65)	35(26)	4(2)

- ◇3 「なぜ？」など、児童生徒の思考を促す発問をしている。

小	12(18)	58(65)	28(12)	3(2)
中	7(7)	46(65)	42(19)	5(2)

- ◇4 児童生徒の理解を助け思考の足跡が見える構造的な板書がなされている。

小	22(23)	62(60)	14(12)	2(2)
中	9(8)	62(65)	24(23)	4(5)

- ◇5 児童生徒が考えをまとめたり表現したりする時間を確保している。ねらいの達成に向けて言語活動を充実させている。

小	24(13)	54(59)	22(19)	1(2)
中	24(15)	38(55)	36(27)	2(3)

- ◇6 一単位時間の授業マネジメントを確立している。

小	15(14)	49(44)	29(34)	6(5)
中	6(10)	53(42)	32(42)	8(6)

※小中学校地区別ブロック型研究会(算数・数学、英語):各ブロック研10回(月1回)

※小学校国語授業改善に係る研修(3日)中学校授業改善に係る研修(1日)

(3)目標と指導と評価の一体化を図る

- ① 観点別評価規準を明確にした上で、評価方法や評価時期を工夫した単元指導計画を作成し、目標と指導と評価の一体化（目標→指導→評価→指導）による授業改善に取り組む。
- ② 目標に準拠した評価及び個人内評価を充実させるため、評価資料や評価場面を適切に設定し、客観的な評価に努めるとともに、児童生徒の進歩の状況を認め・励ます等の自己評価・個人内評価を適切に取り入れる。
- ③ 学習評価について理解を図るため、保護者や児童生徒に向けて、年度や学期の始め等に説明する機会を設ける。
- ④ 国立教育政策研究所「評価規準の作成のための参考資料」や「評価方法等の工夫改善のための参考資料」を学習評価を進める際の参考として役立て、評価方法等の工夫改善を図り、観点別学習状況の評価を適切に行う。その評価を指導に生かす点に留意する。

(4)「学力向上推進プロジェクト 授業改善6つの方策」の推進を図る。

- ① めざす授業像の共有
- ② 教材研究の充実
- ③ 学力向上マネジメントの推進（共有・浸透）
- ④ 学習を支える力の育成
- ⑤ 集団づくり・自主性を高める取組の充実
- ⑥ 教育行政による効果的な支援体制の構築
- ⑦ 「わかる授業 Support Guide」（県教育委員会 平成25年）の徹底事項を常に意識して、要請訪問などにおける指導助言などに活用する。

3 国際理解教育・外国語教育の推進

(1) 学校の教育活動全体を通じて国際理解教育の推進を図る

- ① 各教科等の目標や内容との関連を踏まえた全体計画を作成し、学校の教育活動全体を通じて国際理解教育に取り組む。

(2) 小学校における外国語活動の充実を図る

- ① 外国語活動の授業は、学級担任や外国語活動担当教諭を中心に行い、外国人指導助手（ALT）等を活用したティームティーチング等、指導方法の研究や教材作成等に係る校内研修を行う。
- ② 英語指導力向上研修会を受講した中核教員は、各学校において校内研修を実施し、校内教員の英語指導力の向上に努める。
- ③ ALTや地域人材の活用を通して国際理解教育の充実を図る。

(3) 小学校の活動を踏まえた中学校における英語教育の充実を図る

- ① 小学校外国語活動の内容及び方法を理解するとともに、授業参観等を行うなど小学校との連携を図り、小学校から中学校への接続期における指導の充実を図る。
- ② 英語の授業は英語で行うことを推進し、活用を意識した言語活動の充実を図る。
- ③ ALTとのティームティーチングやグループワーク等の指導形態及び指導方法の工夫・改善を積極的に行い、4技能の総合的な育成を図り、英語によるコミュニケーション能力の基礎を培う。
- ④ 生徒に求められる英語力を達成するために「CAN-DO リスト」の形で学習到達目標を設定し活用する。

4 情報教育の充実

(1) 学校教育全体を通して情報教育の取組の充実を図る

- ① 情報化推進リーダーが100%校務分掌に位置付けられている。校内教育情報化推進委員会の機能化を図り、校内情報化推進計画の見直しなど、校務の情報化を一層推進する。

◇校内情報化を推進するための組織（小学校：90.2%、中学校：90.5%）

◇教育情報化推進リーダーの校務分掌への位置づけ（小学校：100%、中学校：100%）

（H28年5月調査）

- ② 情報モラル教育については、情報教育の年間指導計画に位置付け、各学校の実態に合わせた情報モラル指導カリキュラムを作成し、児童生徒の発達の段階に応じて、各教科、各領域等で系統的、継続的に指導する。

(2) 指導内容や指導方法の取組の充実を図る

- ① ICT機器を効果的に活用し、児童生徒の学習に対する興味・関心・理解を高め、「わかる授業」の展開に向けた指導方法の工夫・改善のための校内研修を実施する。

(3) 情報モラル指導や情報安全管理の取組の充実を図る

- ① 有害情報やメールや掲示板、SNS上での誹謗・中傷など、情報化の「影」の部分への対応や個人情報保護等について教職員自ら理解を深め、情報モラルに関する指導を行う。
- ② インターネットや携帯電話を介した事件・事故を防止するため、ネット社会における危険性に気付けさせるとともに、不適切な情報に的確に対処できる判断力や危険を回避できる能力を育成するため、情報モラル指導カリキュラムの作成を促す。

◇情報モラル指導カリキュラムの年間指導計画作成（小学校：63.4%、中学校：38.1%）

◇情報モラルに関する指導の実施（小学校：82.9%、中学校：76.2%）

- ③ 個人情報の取得、情報安全管理等について「情報セキュリティ」「個人情報保護方針」「校内における個人所有パソコンの利用」などの情報の安全管理に関する規程を策定し、個人情報を適正に取り扱う。

◇個人情報保護方針の策定（小学校：100%、中学校：95.2%）

◇個人情報流出危機管理マニュアルの策定（小学校：75.6%、中学校：85.7%）

（H28年5月調査）

- ④ 個人情報の保護を含む情報安全管理等について、保護者や地域に対して周知を図る。

5 へき地教育の充実

(1) へき地の特性を生かした体験的な学習の充実を図る

- ① 地域教育資源を積極的に活用した体験的な学習の充実を図る。

(2) 少人数・複式学級における学習指導の改善・充実を図る

- ① 少人数、複式指導における授業研究を行うとともに、それらについての成果を全職員で共有する。
- ② ICT の活用を促進し、児童生徒が多くの学習情報に接する機会を増やすとともに、情報発信の機会を設定することで、情報活用能力や発表力を育成する。
- ③ 県立総合教育センターのへき地教育に関する実践の事例集や、へき地教育講座、小規模・複式学級担任講座等を活用し、指導方法の工夫・改善を図る。

(3) 合同学習、集合学習、交流学习等を積極的に展開する

- ① 合同学習、近隣校同士の集合学習、交流学习を実施し、集団での学習の充実を図る。

II 豊かな心の育成

1 道徳教育の充実

(1) 学校の教育活動全体を通じて道徳教育の実践を図る

- ① 校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心とし、一部改正学習指導要領（平成27年3月告示）に基づいた学校の道徳教育の目標および重点目標の見直しを行う。
- ② 道徳教育推進教師を中心に全教師による指導体制を整え、学校や地域の実態に応じた有効で具体性のある全体計画および年間指導計画（別業を含む）を作成し、それに基づいた実践を全教師が協力して展開する。
- ③ 各教科、各領域等で、それぞれの特性に応じた道徳の内容を適切に指導するとともに、学習が児童生徒のよりよい生き方にかかわっていることを実感させる等、共に学ぶ楽しさや自己の成長に気付かせる指導を展開する。

(2) 「特別の教科 道徳」（道徳科）の充実を図る

- ① 各学年の「特別の教科 道徳」（道徳科）の「年間指導計画」及び「34・35週分の指導略案」を作成し、確実に実施する。
- ② 年間指導計画、指導略案、資料等について、学校や学年の協働体制による定期的な検討及び評価の場を設定する。
- ③ 教師の資質・力量を高めるため、道徳の授業力を向上させる校内研修等を実施する。

(3) 家庭・地域社会との緊密な連携を図る

- ① 教師及び保護者の道徳教育に対する意識の高揚を図るため、道徳の授業を保護者や地域に公開する。
- ② 年間指導計画に基づき、道徳の授業において、保護者や地域の方をゲストティーチャーとしての活用を図る。

2 生徒指導の充実

(1) 児童生徒個々への対応の充実を図る。

- ① 児童生徒間、児童生徒と教師の共感的人間関係を築くとともに、児童生徒理解に基づく個に応じた指導支援の充実を努める。
- ② 自他を認め、思いやり、協働、自主性・自立性を含む自己指導能力の育成に努める。
- ③ 対話と活動を重視し、ぶれず、見捨てず、関わり続けることを念頭に、将来を見据えた粘り強い段階的指導・支援を行う。

(2) 学校全体としての取組の充実を図る

- ① 校長のリーダーシップを基軸に、職員の生徒指導観を統一し共通実践に努める。学校としての指導方針の明確化を図り、生徒指導部会等、校内組織を基盤とした教職員の連携の充実を図る。
- ② 生徒指導の三機能（児童生徒に自己存在感を与えること、共感的人間関係を育成すること、自己決定の場を与え自己の可能性の開発を援助すること）を活かした「わかる授業」の構築を図る。
- ③ 児童会、生徒会活動や学校行事等を通して、児童生徒同士が自律を促す規範意識の醸成を図る。
- ④ 定期的なアンケート調査や教育相談の実施等、いじめの未然防止や早期発見、早期解決に向けた取組を推進する（「学校いじめ防止基本方針」の実施及び評価と点検後の見直し）。

(3) 家庭・地域社会、関係機関・団体との連携の強化を図る

- ① 家庭や地域社会、関係機関・団体等とのお互いの顔の見える情報連携、行動連携（支援チームの形成等）を充実させ、生徒指導上の諸問題への対応を図る。

いじめの早期発見・早期対応

沖縄県教育庁義務教育課

いじめ…どの子にも、どの学校でも起こり得る

しない、させない、見逃さない！

いじめに係る情報収集・実態の把握

- 1 教師が豊かな感性で日頃から児童生徒理解、観察に努める。
- 2 児童生徒との信頼関係を築くとともに、児童生徒への生活実態調査や教師間の情報交換、教育相談の実施などを通して、早期発見に努め、事実を隠へいすることなく迅速に対応する。

<いじめに関する情報収集及び実態把握の方法>

- 1 生活実態調査（いじめアンケート調査等）
- 2 個人面談・保護者面談・HPでの情報提供
- 3 日常的な観察
- 4 生活点検表（生活日記）
- 5 心理テスト等

迅速かつ
組織的に
対応

いじめられている子の立場に立ち、徹底して守り通す

いじめの判断について

本人や保護者からのいじめの訴え、いじめの目撃、いじめの目撃情報等

いじめの認定は「校内いじめ対策委員会」が行う

詳細な調査の実施
(関係児童生徒からの聞き取り、アンケート調査等)

<いじめの判断>
「いじめである」ことの説明、あるいは、「いじめとは言えない」ことの説明

学校におけるいじめ発見のためのチェックポイント

- 遅刻、欠席、早退、遅刻ぎりぎりの登校、遅延登校などが増える。
- 忘れ物が多くなり、学習意欲が低下してくる。
- 表情がさす、うつむき加減である。
- 活気がなく、おどおどしたり、表情が暗く周囲を気にしたりする。
- 机、椅子、カバンなどが壊されたり、散らかしたりしている。
- 授業開始前に学習用品、教科書、体育着などが隠されている。
- 学習用品の破損、ノートに落書きがある。
- 授業中、読書に対して皮肉や笑い声が繰り返されたり、正解に対して、冷やかしたりよめきがあったりする。
- その子を苦めると嘲笑が起ったり、しらけたりする。
- その子どもの隣に座るも座りたくない。
- 周囲の子がその子の机や椅子に絡もうとしない。
- 黒板や机等にあなたや「〇〇死ね」などの落書きをされる。
- 用事がないのに職員室の様子をうかがったり、周りをうろろしたりしている。
- 保護室への出入りが増え、給食のベルが鳴っても教室に戻ろうとしない。
- 休み時間は一人でトイレなどに閉じこもったり、授業に遅れて入ってきたりする。
- 休み時間や放課後に一人でぼつんとしていることが多い。
- 清掃や給金の片付けなど、仲間との作業を一人でしている。
- さぼり親しくない友だちと一緒にトイレから出てきたり、遅れて教室に入ってきたりする。
- 理由のわからないケガが多く、その原因を尋ねると「自分で転んだ」と言ったりする。
- 頭痛、腹痛、吐き気をよく訴える。
- 「誰かこれやってくれないか」と言うとき特定の子ども名が出てくる。
- 怪を運ぶとき、ふざけ半分に推察されたりする。
- 入塾を無視したあだ名（ばいじん、〇〇面）がつけられ、しつこく言われる。
- 習字への参加を逃したり、休みがちになる。
- 日記、作文、絵画などに気にかかる表現や描写が表れる。

家庭におけるいじめ発見のためのチェックポイント

- 学校へ行きたくない。
- 「戻りたい」と「学校をやめたい」と言い出す。
- イライラしたり、おどおどしたりして落ちつきがなくなる。
- 衣服の汚れが見られたり、よくケガをしたりしている。
- お風呂に入りが遅くなったり、裸になるのを嫌がる。
- 学習用品や所持品を紛失したり、壊されたりしている。
- 教科書やノートに誰がらせの落書きをされたり、破られたりしている。
- 食欲がなくなったり、体重が減少したりする。
- 寝付きが悪かったり、眠れなかったりする日が続く。
- 怒りに落ち、表情が暗くなる。
- 部屋に閉じこもることが多く、ため息をついたり、涙を流したりしている。
- 先生や友だちを批判する。
- 親に隠してやる事が多くなる。
- 家庭から物品やお金を持ち出したり、余分な金品を要求したりする。
- 親しい友だちが家に来なくなり、見かけない者がよく訪ねてくる。
- 言葉遣いが荒くなり、親や兄弟、祖父母等に反抗したり八つ当たりをする。
- 外に出たがらない。
- 学校の様子を聞いても言いたがらない。
- 電話に無感になる。
- 友達からの電話にいない口調で応答する。
- 不審な電話や誰がらせの手紙や標榜などがある。
- テレビゲームなどに熱中し、現実から逃避しようとする。
- 親の学校への出入りを嫌う。
- 友だちのことを聞かれると黙りっぽくなる。
- 「どうせ自分ばためだ」などの自己否定的な言動が見られ、死や現実を逃避することに關心を持つ。

教職員間の共通理解・情報連携

（学段からの同僚性・協働性が重要）

- 業日頃から、些細なことでも情報の共有化を図る。
- 職員組合等において、生徒指導主事等による「児童生徒の状況報告」を行う。
- 学年会でいじめに係る情報交換・対応策の検討を行う。
- 生徒指導委員会（部会）でいじめに係る情報交換・対応策の検討を行う。
- 保護室（養護教諭）から情報の提供を受ける。
- 習字活動等から情報の提供を受ける。

いじめに係る情報収集及び実態把握

地域からの情報

- 公園などで一人の子を何人かで囲んだり、小突いたりしている。
- スーパーやコンビニ等でジュースやお菓子をおこらしている。
- 地下鉄中一人の子が他の子の荷物を持たされている。
- 道端や公園などで、一人ぼつんとしている。
- 集団（遊び）の中で一人だけ様子がおかしい。

自治会やPTA等に対し、いじめの早期発見のポイント等について周知し、児童生徒の様子を報告してもらう。

* 「沖縄県いじめ対応マニュアル」より 沖縄県教育庁義務教育課 平成29年3月

3 キャリア教育の充実

(1) キャリア教育の理解、校内体制等の確立を図る

- ① キャリア教育に係る「校内委員会」を設置するとともに、キャリア教育担当者を校務分掌に位置付け、校内の推進体制の確立を図る。また、「キャリア教育全体構想図」及び児童生徒の発達の段階に応じた「キャリア教育プログラム」を作成し実践する。
- ② キャリア教育の共通理解、取組の充実を図る校内研修等を推進する。
- ③ キャリア教育で児童生徒に身に付けさせたい「基礎的・汎用的能力」を構成する4つの能力の視点を踏まえた、各教科等の年間学習指導計画の作成を推進する。
- ④ キャリア教育の視点に基づく地域教育資源を活用した授業づくりを推進する。

(2) 進路指導の取組の充実を図る

- ① 児童生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができる力の育成を目指した計画的、継続的な進路指導を工夫する。
- ② 卒業生や保護者、地域人材を活用して、中・高の学校生活や学校と将来の職業とのつながりについての進路学習会等を推進する。
- ③ 各家庭へ進路情報や進路資料を提供し、子どもの将来についての話題づくりができるよう働きかけていく。
- ④ 中学校においては、相談活動の拠点となる進路相談室等を整備し、ガイダンスの機能を生かした

進路指導の工夫を行い、学校・家庭・関係機関が連携して取組の充実を図る。(中1からの進路指導)

(3) 職場体験活動(小:職場見学、中:職場体験)の取組の充実を図る

- ① 職場体験活動は、体験を重視した教育の改善・充実を図る取組の一環としての役割を担うものであり、日々の学習活動と社会とを関連付けた活動を推進する。
- ② 小学校においては、仕事の多様さや人と人とのつながり、身近な大人への理解及び夢や希望を育む機会として職場見学やジョブシャドウイングを実施する。
- ③ 中学校においては、コミュニケーションと人間関係の大切さの理解、仕事を通じた生きがいや責任感、自己有用感の育成、日常の学習と社会生活との結びつきを考えるなどの望ましい勤労観・職業観の育成を図るため、5日程度の職場体験を実施する。
- ④ 職場体験活動は、関係機関及びキャリア教育コーディネーターの支援等により受入事業所等の確保に努め、近隣校や地域、家庭とも連携し、安全で円滑に実施できるよう配慮する。
- ⑤ 事前指導では、児童生徒がその意義やねらいを十分に理解し、自分なりの目標をもって臨むことができるよう指導し、事後指導では、体験から学んだことをまとめ、その後の学習の充実につながるよう指導する。

4 特別活動の充実

(1) 指導計画の充実と指導体制の確立

- ① 自校の課題を踏まえ、道徳的実践の指導の充実を図る観点から、育てたい児童生徒像を明確化し、指導内容を重点化した指導計画を立てるとともに、日常的に計画の見直しや改善を図る。

(2) 望ましい集団を前提とした特別活動の指導の充実

- ① 活動の目標をみんなで作り、目標達成の方法を話し合い、役割分担をし、協力して取り組む活動を通して、自主的、実践的態度を育てる特別活動の充実を図る。
- ② よりよい生活や人間関係を築くため、「集団活動」「自主的な活動」「実践的な活動」の特別活動の特質を踏まえた指導の充実を図る。

◎話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか。(小学校19.4% 中学校21.0%) H28年5月調査

(3) 家庭や地域社会との連携の充実

- ① 児童生徒が、自然や文化との触れ合いや地域の人々との幅広い交流などができるよう、社会教育施設や文化芸術団体等の活用などを工夫するとともに、家庭や地域社会と連携する。

◎地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか(小学校27.6% 中学校24.5%)

◎今住んでいる地域の行事に参加しますか(小学校36.6% 中学校25.1%)

H28年5月調査

5 特別支援教育の充実

(1) 特別支援教育を行うための体制の整備及び必要な取組

- ① 校長のリーダーシップの下、全教職員が協力し、組織的・計画的・継続的に特別支援教育を推進する。
- ② 特別支援教育コーディネーターを中心に、校内委員会等の機能化を図り、特別支援学級はもとより、通常学級に在籍する特別に支援を要する児童生徒の支援体制の充実を図る。
- ③ 児童生徒の発達の段階を的確に把握し、きめ細かな指導が行える「個別の指導計画」を作成する。
- ④ 関係者の一貫した教育的支援を行うため、「個別の教育支援計画」を作成する。

特別支援教育体制整備等状況 (幼稚園 34 園、小学校 45 校、中学校 23 校)

下表数値は質問事項に対する H28 年度の達成率、単位は%、() 内は H27 年度の数値

質問の内容	幼	小	中
①特別支援教育コーディネーターの指名	100 (86)	96 (88)	100 (100)
②個別の指導計画の作成	35 (41)	76 (63)	74 (63)
③個別の教育支援計画の作成	26 (32)	67 (62)	74 (58)
④特別支援教育に関する教員研修の受講(管理職)	100 (100)		

(2) 特別支援学級の教育課程の充実を図る

- ① 児童生徒の障害の状態、特性等や学級の実態に即した教育課程を編成し、本人及び保護者のニーズに応じた教育的支援が行えるように努める。
- ② 教育課程編成にあたっては、必要に応じて特別支援学校小学部・中学部学習指導要領を参考にする。
- ③ 特別支援教育関連の研修事業などの充実を図り、児童生徒の自己実現に繋がる体験的学習・職場体験の充実、保護者との連携を密にする

(3) インクルーシブ教育(学級での学習や生活に関する配慮)の充実を図る。

- ① ユニバーサルデザインに基づいた授業実践の充実を図る。
- ② 合理的配慮チェックリストを活用し、障害のある児童生徒の状態を適切に把握し、対応するよう努める。

合理的配慮の観点		チェック
1	学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮をしている。	
2	学習内容の変更・調整の観点を示している。	
3	情報・コミュニケーション及び教材の配慮をしている。	
4	学習機会や体験の確保に努めている。	
5	心理面・健康面の配慮の観点を示している。	
6	専門性のある指導体制の整備に努めている。	
7	幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮に努めている。	
8	災害時等の支援体制の整備の観点を示している。	
9	校内環境のバリアフリー化に努めている。	
10	発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮に努めている。	
11	災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮の観点を示している。	

6 人権教育の充実

(1) 人権教育の指導体制や校内研修の充実を図る

- ① 人権教育の全体計画を作成し、校内における「人権委員会」の機能化を図る。
- ② 児童生徒、教職員がともに人権感覚を高める「人権を考える日」(月1回程度)を設定し、人権教育に関する資料の掲示、校内放送での呼びかけ等の取組を展開する。
- ③ 「いじめ」は、基本的人権に係る重大な問題であるとして、月1回の「いじめ」に関するアンケートの実施や教職員間の日常的な情報交換など、全校体制による「いじめ」の未然防止と早期発見・早期解決に努める。
- ④ インターネット等による人権侵害等の課題について、情報モラル指導の充実に努める。

(2) 人権教育の指導の工夫・改善を図る

- ① 自分の人権を守り、他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度の育成に努める。

(3) 豊かな人間性を育む教育の充実を図る

- ① 家庭・地域社会や関係機関と連携し、ボランティア活動や社会体験活動、高齢者や障害者との交流など豊かな体験の機会の充実に努める。

7 平和教育の充実

(1) 学校の教育活動全体を通じて平和教育の充実を図る

- ① 「慰霊の日」前後だけでなく、各教科、領域等の目標や内容との関連を明確にしなが、各教科等の年間指導計画に位置づけ、平和教育を推進する。
- ② 戦争体験者が高齢化し語り手が減少する中、学校では外部講師に頼らない平和教育の指導力の向上も必要である。そのため、校内研修等において平和教育を位置付け、研鑽を深めるとともに、全職員による協働体制を確立し、全校体制での指導の充実に努める。

(2) 指導内容や指導方法の工夫・改善を図る

- ① 世界平和と人類の幸福に貢献する立場から、生命の尊重や個人の尊厳を理解させ、思いやりの心、寛容の心を育てることを指導内容の基本とする。
- ② 平和教育の指導においては、学習指導要領の内容を踏まえ、児童生徒の発達の段階に応じた教材を

開発するとともに、体験的な学習や地域の人材活用などの指導方法の工夫・改善に努める。

8 環境教育の充実

(1) 学校の教育活動全体を通じた環境教育の実施を図る

- ① 総合的な学習の時間や生活科等で「環境」や「地域の自然」を取り上げ、環境問題について考えたり、環境保全に関わる活動を行ったり、児童生徒が主体的に取り組めるような活動を実施する。
- ② 環境保全活動に関する内容を年間計画等に位置付け、日常的な取組を継続させる実践を推進する。

(2) 環境に関する指導内容や指導方法を工夫する

- ① 各教科等における環境やESDに係る内容との関連を図り、身近な素材や題材を扱う体験的な問題解決学習を推進する。

(3) 家庭・地域社会との連携を図る

- ① 地域素材の教材化を図り、実生活や実社会との関わりを重視した環境教育の充実を図る。

※ジュニアエコプロジェクト「ライオン美action」環境教育実践校・・・屋我地中学校、瀬底小学校

III 健やかな体の育成

1 たくましい心と体を育む教育の推進

(1) 学校・家庭・地域社会と連携した学校保健の充実

- ① 児童生徒の健康課題を解決するために、学校保健委員会を年3回（計画立案、中間評価、まとめ）開催し、組織的・計画的に取り組む。
- ② 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育や性（エイズ・性感染症等）教育の指導内容の充実を図る。

◇学校保健委員会年3回開催、発達の段階を踏まえた喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育や性（エイズ）教育の取組

◇喫煙の実態（12月現在） 小(H27年:11件→H28年:21件) 中(H27年:46件→H28年:37件)

◇飲酒の実態（12月現在） 小(H27年:1件→H28年:1件) 中(H27年:15件→H28年:14件)

(2) 体育・スポーツ活動の指導の充実

- ① 基礎的な体力の向上及び教科体育・体育的行事等の工夫・改善に取り組む。
- ② 運動部活動の加入率の向上と活性化を図るとともに、生徒のバランスのとれた生活や成長のためにも休養日や練習時間を適切に設定するなど、運動部活動の適正化を推進する。

◇運動部活動加入率(中学校) 25年(76.0%) 26年(74.2%) 27年(73.8%) 28年(74.0%)

2 食育の推進

(1) 学校における食育推進体制の確立及び充実

- ① 学校の食に関する指導の全体計画及び発達の段階に応じた各学年毎の年間指導計画等を作成し、食に関する指導の工夫改善を図る。
- ② 学校における食育推進の評価指標（朝食欠食率、給食残食率、地場産物活用率、幼児児童生徒の肥満率等）を設定し、その改善を図る。

◇毎日朝食を食べる：小学校84.1%（全国87.3%） 中学校80.6%（全国83.3%）（H28調査）
小学校85.0%（全国87.6%） 中学校81.2%（全国83.8%）（H27調査）

(2) 学校給食の充実

- ① 栄養教諭等学校給食栄養管理者と学校との連携を通して、安全・安心でおいしい学校給食に地域の地場産物の活用を促進したり、地域の行事食を提供する等、学校給食の充実を図る。

(3) 家庭・地域・関係機関との連携

- ① 朝食摂取率の向上など幼児児童生徒の基本的な生活習慣に係る課題について、家庭地域と共通理解を図り課題解決を図る。
- ② 「食べて・動いて・よく寝よう」運動を促進する。

3 学校安全・防災教育の推進

(1) 学校安全の推進に関する計画の策定

- ① 学校保健安全法第3条第2項の規定に基づき、「危機管理マニュアル」や「生きる力をはぐくむ学校での安全教育」(文部科学省発行学校安全資料)を参考に、学校安全の推進に関する計画を策定する。
- ② 学校独自の学校安全の推進に関する計画に基づき、学校における安全教育と安全管理(定期的・臨時的・日常的な安全点検の確実な実施)の徹底に努める。
- ③ 安全教育と安全管理を円滑に進めるために組織活動の充実を図り、学校安全体制の構築に努める。
- ④ 保護者及び地域・関係機関等と連携し、学校安全教育の充実に努める。

(2) 防犯教育の充実に努める

- ① 「危機管理マニュアル」を避難訓練や校内研修及び各教科等において効果的に活用し、防犯教育の充実に努める。
- ② 不審者侵入に対する避難訓練や防犯教室の取組を通して、幼児児童生徒の危険回避能力の育成に努める。
- ③ 不審者等の情報に対しては、地域巡回や不審者情報を発信し、注意喚起に努める。
- ④ 通学路の安全点検を行い、危険箇所について地域安全マップの作成に努める。

(3) 防災教育の充実に努める

- ① 学校保健安全法第29条に基づき、沖縄県教育委員会発刊の「危機管理マニュアル」等を参考に、学校の実情等に応じた独自の「危機管理マニュアル」の作成に努める。
※ 防災教育におけるマネジメントサイクルでは、I-CAPDが有効である。(I:イメージ I-CAPD(何が起こる?→何が問題?→話し合い→対策→実行)サイクルによる実施計画を作成。)
- ② 「危機管理マニュアル」を効果的に活用し、避難訓練や校内研修等を通して、防災教育の充実に努めるとともに、幼児児童生徒の危険回避能力の育成に努める。
- ③ 「危機管理マニュアル検討委員会」を設置し、必要に応じて見直し作成を行う。その際、PDCAマネジメントサイクルを活用し改善に努める。(検討委員のメンバーに保護者や地域の関係者等を加えることが望ましい。)

(4) 交通安全教育の充実に努める

- ① 「危機管理マニュアル」を効果的に活用し、交通安全教室(自転車教室も含む)や校内研修等を通して、幼児児童生徒の危険回避能力の育成と教職員の資質向上を図るとともに、交通安全教育の充実に努める。
- ② 幼児児童生徒による地域安全マップの作成を通して、危険回避能力の育成に努める。
- ③ 通学路の安全点検を行い、各市町村教育委員会や関係機関(所轄警察署・道路管理者)と連携し、危険箇所の改善に努める。

(5) 河川・海浜等における事故防止の充実に努める

- ① 「危機管理マニュアル」を効果的に活用し、水難事故防止教室や校内研修等を通して、幼児児童生徒の危険回避能力の育成と教職員の資質向上に努める。
- ② 河川・海浜等の危険箇所の点検を実施し、水難事故等の未然防止対策に努める。

◇学校独自の危機管理マニュアル作成状況(小中とも100%)	(H27調査)
◇地域安全マップの作製状況(小50.0%、中37.5%)	
◇児童生徒向け防犯・避難訓練等の実施(小:93.3%、中:54.2%)	
◇地震・津波の避難訓練(小:100.0%、中:95.8%)	

IV 教職員の資質向上

1 学年会・教科会の充実

(1) 組織的な取組の充実に努める

- ① 学力向上マネジメントを機能させ全職員体制でOJTを推進する。
- ② 週時程に学年会や教科会を位置づけ、教材研究の時間を確保するとともに、授業づくりの方法等について全職員で共有する。

(2) めざす授業像を共有する

- ① めざす授業像を共有し、めざす子どもの姿が実現できる授業改善の取組を推進する。
- ② 主体的、対話的で深い学びの実現をめざし、「授業における基本事項」を意識した授業改善の取組を推進する。

2 授業研究会の充実

(1) 授業研究を中核とした校内研修の充実に努める

- ① 全職員が指導案を作成した公開(研究)授業を年1回以上実施するとともに、めざす授業や子どもの姿の実現を図れたか等、授業研究会の充実に努める。

②日常的に相互に授業を公開するなど、互見授業を推進し、授業改善を図る。

(2) 管理職による日々の授業観察とフィードバック

①校長・教頭による授業観察を1日1回以上実施し、適宜フィードバックを行うことにより授業改善を推進する。

②週案等を活用するなど、個々の教師に対するフィードバックの方法を工夫する。

3 校種間の連携

(1) 幼小中の効果的な連携の充実を図る

①めざす授業や子どもの姿の実現を図るため、学びの連続的・系統的な指導を意識し幼小中の連携を推進する。

②幼小・小中合同の研修会の実施や相互の授業参観、乗り入れ授業等、連携した取組の充実を図る。

4 各種研修会への参加・伝達

(1) 職務研修、課題研修、専門研修等を通して資質向上を図る。

①教育事務所、総合教育センター、市町村教育委員会等における研修に積極的に参加し、個々の指導力の向上を図る。

②研修等で得た情報を校内研修等で確実に全職員に伝達する。

(2) 各種研究団体等における研修等を通して資質向上を図る。

①校外における各種研究団体（各教科等の研究会など）の研修等に積極的に参加し個々の指導力の向上に努める。

②同僚性を構築し職員相互が学び合えるよう、研修等で得た情報は共有できるように努める。

第3章 生涯学習・社会教育に係る取組事項

1 生涯学習の充実

(1) 広域学習サービス講座の充実を図る

① おきなわ県民カレッジ広域学習サービス講座の企画並びに広報活動の充実を図る。

② おきなわ県民カレッジ連携講座（各市町村公民館等講座）との連携・協力を図る。

③ 遠隔講義配信システム及びライブ講座等の広報・周知活動を図る。

2 青少年の健全育成

(1) 学校・家庭・地域の連携を図る

①「地域連携担当教員」の資質向上に関わる研修の充実を図る。

②「おきなわ地域教育の日」の啓発・広報に努める。

③ 青少年教育施設の充実と利用促進を図る。

3 社会教育の充実

(1) 子どもの読書活動を推進する

① 子どもの読書活動推進計画の策定（各市町村教育委員会への啓発・協力）を推進する。

② 沖縄県子どもの読書活動推進フォーラムの啓発・広報活動を推進する。

③ ファミリー読書について、学校・家庭への情報発信を行い周知を図る。

(2) 家庭教育支援事業の充実を図る

①「家庭教育支援フォーラム」の啓発・広報活動を促進する。

② 国頭地区家庭教育支援推進委員会と連携し、夢実現「親のまなびあい」プログラム実施の支援に努める。

(3) 社会教育関係団体と連携を図る

① 北部地区社会教育主事協会の研修会を定期的で開催し、研修内容の充実を図る。

② 各社会教育団体との連携を図り、各団体の活動を支援する。

③ 社会教育施設（青少年の家・公民館・博物館・図書館等）を活用して、PTA・婦人会・青年会・少年団体等を支援し、活動の充実に努める。

(1) 研修事業年間計画

日	4 月	5 月	6 月
1 土		月	木 生徒指導・教育相談訪問⑦(羽地小)
2 日		火 主幹教諭研修会 市町村教育長等連絡協議会①	金 平成29年度教科用図書選定審議会② 小学校教科担当者研修会(社会) 沖縄県社会教育指導者研修会 初任者研修担当主事会① 人事担当者会議② 国頭地区中学校夏季総体(1日目)
3 月	平成29年度新規採用職員辞令交付式 初任者研修(幼小中①)開講式	水 憲法記念日	土 国頭地区中学校夏季総体(2日目)
4 火	初任者研修指導教員等連絡協議会① 新採・臨任学校事務研修会①	木 みどりの日	日 国頭地区中学校夏季総体(3日目)
5 水		金 こどもの日	月 特別支援教育新任管理職研修(本島)午前:校長、午後:教頭 生徒指導・教育相談訪問⑧(崎本部小) 栄養教諭初任者研修(県立総合教育センター) 発達障害研修①
6 木	国頭地区指導主事等研修会①	土	火 へき地校計画訪問(伊平屋小)②
7 金	第1回教育事務所長会議 教科用図書無償給与事務説明会 教育事務所特別支援教育担当者会	日	水 教育事務所指導主事等研修会② 地区別養護教諭研修会(国頭・中頃) へき地校計画訪問(伊平屋中)③
8 土		月 第2回教育事務所長会議 第1回教育事務所長連絡会議等	木 小学校体育実技指導者講習会(水泳)
9 日		火 地区別ブロック型研究会② 校長会と行政の連絡会①	金 第3回教育事務所長会議 中学校教科担当者研修会(社会) 県PTA安全会制度事務研修会 就学支援スキルアップ研修(国頭) 幼稚園担当指導主事等連絡協議会 教育相談員等研修会②(県立総合教育センター) 【総務課】地方教育費調査に係る市町村説明会(本庁)
10 月	県スクールカウンセラー連絡協議会	水 小中学校教育相談担当者研修会 地区不登校問題対策連絡協議会①	土 国頭地区中学校夏季総体(3日目)
11 火		木 10年経験者研修① 学校給食衛生管理実技講習会(国頭)① 栄養教諭10年経験者研修(県立総合教育センター)	日
12 水	県授業改善推進教師研修会①(担当指導主事会) 新規採用学校栄養職員研修連絡協議会(指導者)センター	金 公立学校新規採用事務職員研修会 幼稚園10年経験者研修連絡協議会(義務教育課) 小・中研究主任研修会① 学校給食衛生管理実技講習会(国頭)②	月 県立高等学校入学適性学力検査結果分析説明会(国頭)
13 木	研究指定校等連絡協議会 新規採用学校栄養職員研修(～14日) 地区別ブロック型研究会① 新規採用学校栄養職員研修連絡協議会(校長)センター	土	火 小学校教科担当者研修会(体育) 地区別ブロック型研究会③
14 金	新任小中教務主任研修会 人事担当者会① 幼稚園初任者研修指導員連絡協議会(義務教育課)	日	水 10年経験者研修② へき地校計画訪問(西小)④
15 土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	月 地区学方向上推進委員会・総会 地区市町村学方向上担当指導主事連絡協議会① 新規採用学校栄養職員研修(～15日)(学校給食会) 学校栄養職員10年経験者研修(県立総合教育センター)	木 第1回小中理科観察実験研究協議会(国頭A)
16 日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	火 生徒指導・教育相談訪問①(屋部中) 教職員評価システム評価者研修会Ⅱ(新任校長・小・中校長) 地区別学校給食指導者研修会(国頭) 沖縄県生涯学習情報提供システム説明会②	金 第1回小中理科観察実験研究協議会(国頭B) 第3金曜日「少年を守る日」 幼稚園初任者研修 幼稚園10年経験者研修
17 月	新任特別支援学級・通級担当教員研修会① 生徒指導関係事業担当者連絡会 地区スクールカウンセラー等連絡会①	水 生徒指導・教育相談訪問②(久辺中) 教職2年目研修会①	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
18 火	全国学力・学習状況調査	木 新任特別支援学級・通級担当教員研修会②	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
19 水	地区学方向上推進委員会・企画委員会① 地区授業改善推進教師研修会① 平成29年度教科用図書選定審議会① 10年経験者研修担当者連絡協議会① 生涯学習・社会教育行政連絡会①	金 栄養教諭5年経験者研修(県立総合教育センター) 教職員評価システム評価者研修会Ⅱ(新任小・中教頭、給食センター長) 生徒指導・教育相談訪問③(今帰仁小) 読書活動推進担当者会議③第3金曜日「少年を守る日」 地域特別支援教育総合推進事業運営協議会①	月 小・中校長研修会②
20 木	教育事務所指導主事等連絡協議会① 教育事務所生徒指導担当主事会① 教育事務所等英語教育担当主事会① 学校安全担当指導主事連絡協議会① 地区PTA連合会定期総会	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	火 教科書需要数報告事務説明会(本庁) 生徒指導・教育相談訪問⑩(羽地中)
21 金	全県指導主事等連絡協議会①(午後) 市町村学方向上担当指導主事等連絡協議会①(午前) 不登校問題対策11市連絡協議会①(午前) 第3金曜日「少年を守る日」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	水 生徒指導・教育相談訪問⑩(国頭中) 新任特別支援学級・通級担当教員研修会③ 運動部活指導者及び外部指導者研修会
22 土		月 教育情報化推進講座(国頭:小中) 市町村就学支援担当者等連絡会(国頭) 障害のある幼児の就園指導連絡協議会(国頭) 学校栄養職員5年経験者研修(県立総合教育センター) 新採・臨任学校事務研修会②	木 初任者研修(小中④) 中学校教科担当者研修会(体育) へき地校計画訪問(北国小)⑤ 教育相談員等研修会③(県立総合教育センター)
23 日	「子ども読書の日」記念フォーラム	火 小学校国語授業改善研修会①(国頭) 県スクールソーシャルワーカー連絡協議会	金 読書の日
24 月	教育事務所等情報教育担当者会 小・中校長研修会① 教職員評価システム研修会Ⅰ(小・中校長)	水 生徒指導・教育相談訪問④(大宮中) 教職3年目研修①	土
25 火	特別支援教育市町村連絡協議会① 総合教育センター事業等説明会 沖縄県生涯学習情報提供システム説明会①	木 初任者研修(小中⑤) 公立小中学校特別支援学級設置校長研修(センター) 平成29年度教科用図書調査委員会③	日
26 水	教職員評価システム研修会Ⅲ(本庁) 小中学校生徒指導担当者研修会① 生涯学習コーディネーター研修会	金 生徒指導・教育相談訪問⑤(名護中) 中学校英語力アップ研修会① 臨時的任用等教員研修会	月 国頭地区指導主事等研修会③(～28日)
27 木	初任者研修(小中⑥) 初任研校長連絡協議会① 初任研指導教員等連絡協議会② 10年研校長等連絡協議会 特別支援教育コーディネーター養成研修(国頭)	土	火
28 金	小・中教頭研修会① 教職員評価システム研修会Ⅰ(小・中教頭) 沖縄型幼児教育推進事業連絡協議会① 市町村学校給食担当者連絡協議会 栄養教諭初任者研修(県立総合教育センター) 新規採用養護教諭研修(県立総合教育センター) 栄養教諭初任者研修連絡協議会(センター)		水 地区童話・お話大会指導者等研修会
29 土	昭和の日	月 国頭地区指導主事等研修会②	木 中学校国語授業改善研修会(国頭)
30 日		火 読書活動推進委員会① 中学校教科担当者研修会(技術・美術) 平成29年度国頭地区健康教育研究会研修会及び総会 生徒指導・教育相談訪問⑥(大北小)	金 小・中教頭研修会②
31		水 へき地校計画訪問(東小中)① 教育相談員等研修会①(県立総合教育センター)	

日	7 月	8 月	9 月
1	主	火 初任者研修(センター研修①) 10年経験者研修⑥⑦ 地区意見発表大会指導者等研修会 学校安全指導者養成講習会(本島) 小中学校特別支援学級・通級指導教室担当者研修(国頭)	金 人事担当者会議④
2	日	水 初任者研修(センター研修②) 幼稚園初任者研修(～4日)(県立総合教育センター他) 教職3年目研修② 小学校英語指導力向上研修会① 学校体育実技武道指導者養成講習会(～4日) 沖縄県青少年フレンドシップin九州(～8/6)	土 ※管理職候補者選考試験第二次試験(予備日)
3	月	木 初任者研修(センター研修③) 新規採用養護教諭研修(～4日) 小学校英語指導力向上研修会② 全国特別支援学級設置学校長会第54回全国研究協議会(～4日 岡山) 家庭教育支援アドバイザー養成講座(国頭地区)	日 ※教員候補者選考試験第二次試験(予備日) 旧盆(ウケイ)
4	火	金 10年経験者研修③ 教育相談員等研修会④(県立総合教育センター) へき地校計画訪問(伊江小)⑥	月 旧盆
5	水	土 へき地校計画訪問(伊江中)⑦	火 旧盆(ウケイ)
6	木	日 初任者研修(小中⑤)	水 学習指導要領の着実な実施に向けた連絡協議会①(午後)
7	金	月 小・中教務主任等研修会(教育課程説明会) 九州地区難聴・言語障害教育研究大会(熊本県)(～8日) 栄養教諭初任者研修(～8日)(県立総合教育センター) 学校栄養職員10年経験者研修(～8日) 九州中体連(体育館～8日)	木 地区不登校問題対策連絡協議会② 教育事務所指導班長等会議③(午前) 公立小中学校長連絡協議会(午後)
8	土	火 読書活動推進担当者会議② 中学校英語指導力向上研修会① 保育技術協議会(～9日)(県立総合教育センター) 養護教諭10年経験者研修(～10日)(県立総合教育センター) 栄養教諭5年経験者研修(県立総合教育センター) 栄養教諭10年経験者研修(～10日)(県立総合教育センター) 科学の甲子園ジュニア国頭地区予選	金 発達障害研修② 第一回学力向上推進本部会議 第6回教育事務所長会議
9	日	水 中学校英語指導力向上研修会② 情報教育指導者養成講座(～10日 生涯学習振興課)	土 ※教員候補者選考試験第二次試験(予備日)
10	月	木 沖縄県幼稚園教諭等研修会 九州中体連(相撲) 中学校英語指導力向上研修会③ 新採・随任学校事務研修会③	日 ※教員候補者選考試験第二次試験(予備日)
11	火	金 第1回道徳教育推進連絡協議会 地区別ブロック型研究会④	月 地区市町村学力向上担当指導主事連絡協議会② 全国社会教育研究大会(北海道～13日)
12	水	土 第1回市町村道徳教育推進連絡協議会	火 校長会と行政の連絡会② 【総務課】教育委員会施策に関する地区協議会(国頭)
13	木	日	水 英語担当中高連携研修会(国頭) 県授業改善推進教師研修会② 総合教育センター研修員研究報告会①
14	金	月 地域連携担当教員等研修会	木 総合教育センター研修員研究報告会②
15	土	火 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	金 地区園長等運営管理協議会 総合教育センター研修員研究報告会③ 第3金曜日「少年を守る日」 第2回教育事務所長連絡会議等
16	日	水 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	土 ※教員候補者選考試験第三次試験(1日目) 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」 子ども読書指導員養成講座①
17	月	木 海の日	日 ※教員候補者選考試験第三次試験(2日目) 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
18	火	金 第4回教育事務所長会議 初任者研修指導員等連絡協議会③	月 敬老の日
19	水	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	火 国頭地区指導主事等研修会④
20	木	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	水 おきなわ県民カレッジ主催講座(ライブ配信)② 教育相談員等研修会(県立総合教育センター)
21	金	月 ※管理職候補者選考試験第一次試験 沖縄県中学校夏季総体(開会式) 第3金曜日「少年を守る日」	木 教職員研修事業調整会議①
22	土	火 沖縄県中学校夏季総体(競技開始～24日)	金 初任者研修担当主事会②
23	日	水 ※教員候補者選考試験第一次試験	土 秋分の日
24	月	木 新規採用養護教諭研修(～28日) 中学校英語力アップ研修会② 県栄養教諭・学校栄養職員等研修会	日
25	火	金 新規採用養護教諭研修 県栄養教諭・学校栄養職員等研修会	月 子ども読書指導員養成講座②遠隔配信
26	水	土 ※管理職候補者選考試験第一次試験(予備日) 初任者研修⑥(夏季宿泊研修)1日目 幼稚園初任者研修(～28日)宿泊研修 新規採用学校栄養職員研修(～28日)宿泊研修 養護教諭10年経験者研修(～28日)(各施設)	火 地区別ブロック型研究会⑤ 小学校算数ブロック型研究会(調査官招聘)
27	木	日 初任者研修⑦(夏季宿泊研修)2日目 全国難聴・言語障害教育研究大会(大阪府)(～28日) 全国情緒障害教育研究協議会教育研究大会(東京大会)～28日 県体力づくり・体育指導改善講習会(～28日)	水 ※教員候補者選考試験第二次試験(3日目)
28	金	月 初任者研修⑧(夏季宿泊研修)3日目	木 人事担当者会議⑤ 初任者研修(小中⑨) 地区別ブロック型研究会⑤英語(調査官招聘) 人事担当者会議⑥
29	土	火 次世代を担う青少年育成推進事業ESD研修会	金
30	日	水 ※教員候補者選考試験第一次試験(予備日)	土
31	月	木 ●平成29年度 初任者研修(本庁研修)● 県小学校体育実技指導者講習会 栄養教諭10年経験者研修(～8月2日) 10年経験者研修④⑤ 学校栄養職員10年経験者研修(～8月3日)	

日	10 月	11 月	12 月
1	日	水 美ら島おきなわ教育の日 第2回小中理科観察実験研究協議会(国頭B) 全日本音楽教育研究大会(神純大会)～2日 第66回全国へき地教育研究大会高知大会～2日	金 第9回教育事務所長会議 特別支援学校幼稚園発達検査等②
2	月	木 地区幼稚園教育課程研究協議会 教職員研修事業会議②沖縄県広域地震・津波訓練 沖縄県養護教諭研修会	土
3	火	地区スクールカウンセラー等連絡協議会②	金 文化の日
4	水		土
5	木		日
6	金	第7回教育事務所長会議 第3回教育事務所総務班長会議 言語活動指導者養成研修(筑波研修センター)～8日	水 高等特別支援学校志願取下・再提出①
7	土	※教員候補者選考第三次試験(予備日) 国頭地区中学校陸上競技大会	火 防火教室講習会(国頭・中頭)
8	日	※教員候補者選考第三次試験(予備日)	水 平成29年度第46回国頭地区健康教育研究大会
9	月	体育の日	木 第58回沖縄県小中学校校長研究大会(那覇大会)① 県立中学校出願(～10日)全国学校体育研究大会(和歌山～10日) 第40回九州地区中学校国語教育研究大会神純大会～10日
10	火	小・中学校長研修会③ 新採・臨任学校事務研修会④	金 第58回沖縄県小中学校校長研究大会(那覇大会)② 第8回教育事務所長会議
11	水	人事担当者会議(予備)	土 合理的配慮に基づくICT教育推進研修(小・中・高・特) 実習助手、寄宿舎指導員候補者選考試験第一次試験 県中体連駅伝競走大会(八重山)
12	木	第63回九州地区へき地・小規模校教育研究大会(鹿児島大会) おきなわ県民カレッジ主催講座(ライブ配信)⑨	日
13	金	第63回九州地区へき地・小規模校教育研究大会(鹿児島大会) 学校栄養職員新規採用・5年・10年経験者研修	月
14	土		火 地区別ブロック型研究会⑦ 第2回一②小学校国語授業改善研修会(国頭)
15	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	水 教育事務所指導班長会議④ 第25回地区小中学校直話お話・意見発表会(宜野座村・金武町)
16	月	教育長会・学務担当者 人事異動説明会 国頭支部教頭研究会	木 第51回沖縄県公立小中学校教頭研究大会(中頭大会)① 教職員研修調整会議③ 初任者研修(小中①) ALT指導力等向上研修会① 特別支援学校幼稚園順書受付① 九州地区特別支援教育研究連盟研究大会(大分大会)～17日 九州地区特別支援教育研究連盟研究大会(大分大会)～17日
17	火	地区別性(エイズ)薬物乱用防止教育研修会(国頭・中頭)教育センター 地区別ブロック型研究会⑥(英語のみ)	金 第51回沖縄県公立小中学校教頭研究大会(中頭大会)② 特別支援教育市町村連絡協議会② 第3金曜日「少年を守る日」 ALT指導力等向上研修会② 読書活動推進担当者会議③ 教育相談員等研修会(県総合教育センター) 特別支援学校幼稚園順書受付②
18	水	地区童話大会申し込み締め切り	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
19	木	初任者研修(小中②)	日 国頭地区中学校総合文化祭 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
20	金	新任特別支援学級・通級担当教員研修会④ 中学校英語力アップ研修会④ 中学校教学ブロック型研究会(調査官招聘) 栄養教諭初任者・5年・10年経験者研修 第3金曜日「少年を守る日」	月 国頭地区指導主事等研修会⑤ 沖縄県学力向上Web実力調査～12月8日(金)まで
21	土	子ども読書指導員養成講座③県中体連陸上競技大会(中頭) 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」 第62回九州ブロックPTA研究大会大分大会(～22日)	火 高等特別支援学校順書受付① 九州地区学校体育研究発表大会(熊本～22日)
22	日	子ども読書指導員養成講座④	水 高等特別支援学校順書受付② おきなわ県民カレッジ主催講座(ライブ配信)④ 人事担当者会議③ 学校安全推進協議会
23	月	特別支援教育管理職研修会(国頭)	木 勤労感謝の日
24	火	第2回一①小学校国語授業改善研修会(国頭)	金 沖縄県聴覚・言語障害教育研究大会(予定) 第2回情緒障害教育研究大会 読書活動推進委員会③ 沖縄県体育研究大会
25	水	人事担当者会議⑦	土
26	木	人事担当者会議⑧ 第50回沖縄県へき地教育研究大会(国頭大会) 全日本特別支援教育研究連盟研究大会山口大会(～27日) 平成29年度中卒認定試験	日
27	金	人事担当者会議⑨ 第50回沖縄県へき地教育研究大会(国頭大会) 「文字・活字文化の日」記念フォーラム	月
28	土	国頭地区中学校駅伝競走大会	火 高等特別支援学校志願変更申出①
29	日		水 高等特別支援学校志願変更申出② 県中体連第30回実践研究大会
30	月		木 特別支援学校幼稚園発達検査等①
31	火	第2回小中理科観察実験研究協議会(国頭A)	日

日	1 月	2 月	3 月
1	月 元日	木 教職2年目研修会③(課題研究報告会)	木 県立高校卒業式
2	火	金 高等特別支援学校第2次募集合格発表 県立高校推薦・連携型・併設型入学確約書提出期限 小中研究主任研修会② 第17回沖縄県健康教育研究大会	金 初任者研修(小中⑬)教育講演 閉講式 初任研校長連絡協議会②指導教員等連絡協議会⑤
3	水 年末年始休(～1月3日)	土	土
4	木 仕事始め	日	日
5	金 第10回教育事務所長会議 沖縄県就学支援委員会①	月 小中教頭研修会③	月 地区学力向上推進委員会・企画委員会③
6	土	火 特別支援学校高等部一般入学願書受付① 県立高校一般入学・特募願書受付(1日目)	火 県立高校入学者選抜学力検査1日目 特別支援学校高等部入学者選抜学力検査①
7	日	水 特別支援学校高等部一般入学願書受付② 県立高校一般入学・特募願書受付(2日目) 地域特別支援教育総合推進事業運営協議会② 県立高校志願状況発表 県授業改善推進教師研修会③	水 県立高校入学者選抜学力検査2日目 特別支援学校高等部入学者選抜学力検査② 県立高校入学者選抜特別募集検査
8	月 成人の日	木 地区学力向上推進委員会連絡協議会 地区市町村学力向上担当指導主事連絡協議会③ 学校体育実技武道認定講習会①	木
9	火 沖縄県就学支援委員会②	金 第12回教育事務所長会議 幼稚園初任者研修(県立総合教育センター) 新規採用学校栄養職員研修(県立総合教育センター) 新規採用学校栄養職員研修連絡協議会(センター) 学校体育実技武道認定講習会② 第48回国頭地区小・中学校長研究大会	金 人事担当会議⑬ 第13回教育事務所長会議 第2回学力向上推進本部会議 第3回教育事務所長連絡会議等
10	水 沖縄県就学支援委員会③	土	土
11	木 沖縄県就学支援委員会④ 地区学力向上推進委員会・企画委員会②	日 建国記念の日	日
12	金 人事担当会議⑩ 国頭地区学校事務職員研修会②	月 振替休日	月 地区授業改善推進教師研修会③
13	土	火 県立高校志願変更申し出(1日目) 沖縄型幼児教育推進事業連絡協議会② 地区別ブロック型研究会⑩(報告会)	火 県立高校一般合格発表 特別支援学校合格発表 総合教育センター研修員研究報告会①(～16日)
14	日 第59回沖縄県PTA研究大会国頭大会	水 第4回教育事務所総務班長会議 県立高校志願変更申し出(2日目)	水 県立高校第2次募集願書受付1日目 特別支援学校第2次募集願書受付① 次年度初任者研修説明会(校長)
15	月 沖縄県就学支援委員会⑤ 県立高校推薦・連携型・併設型入学願書受付(1日目) 国頭地区指導主事等研修会⑥	木 10年経験者研修⑩(報告会)	木 県立高校第2次募集願書受付2日目 特別支援学校第2次募集願書受付② 県立高校第2次募集集初回志願状況発表
16	火 地区不登校問題対策連絡協議会③ 地区別ブロック型研究会⑨ 県立高校推薦・連携型・併設型入学願書受付(2日目)	金 人事担当会議⑫ 第3金曜日「少年を守る日」	金 教育事務所指導班長等会議⑤ 県立高校第2次募集志願変更再出願 県立高校第2次募集最終志願状況発表 第3金曜日「少年を守る日」
17	水 教育事務所学力向上担当指導主事等連絡協議会②(終日) 教育事務所生徒指導担当連絡協議会② 高等特別支援学校入学者選抜検査① 県立高校推薦・連携型・併設型入学志願状況電話報告(正午まで)	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
18	木 学習指導要領の着実の実施に向けた連絡協議会② 教育事務所英語教育担当主事会②(午前) 高等特別支援学校入学者選抜検査②	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
19	金 全県指導主事等連絡協議会②(午後) 第11回教育事務所長会議 第3金曜日「少年を守る日」 不登校問題対策11市連絡協議会②(午前) 市町村学力担当指導主事等連絡協議会③(午前)	月	月
20	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	火 中高特別支援教育連絡協議会(本島地区) 県立高校願書取り下げ・再出願志願	火
21	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	水 沖縄県学力到達度調査(小) 県立高校願書取り下げ・再出願志願 県立高校最終志願状況発表	水 春分の日
22	月	木 沖縄県学力到達度調査(中)	木 国頭地区指導主事等研修会⑦
23	火 小中生徒指導担当者研修会③ 高等特別支援学校合格発表	金 沖縄県学力到達度調査(中) 新規採用養護教諭研修(県立総合教育センター) 栄養教諭初任者研修連絡協議会(県立総合教育センター)	金
24	水	土	土
25	木 初任者研修(小中⑭)	日	日
26	金 小・中学校長研修会④ 人事担当会議⑪ 高等特別支援学校入学確約書提出期限 沖縄県社会教育研究大会(国頭大会) 県立高校推薦・連携型・併設型選抜結果通知期限	月	月 県立高校2次募集合格発表 特別支援学校第2次募集合格発表
27	土	火	火
28	日	水	水 県立総合教育センター長期研修終了式
29	月 市町村教育長等連絡協議会 高等特別支援学校第2次募集願書受付①	木	木
30	火 高等特別支援学校第2次募集願書受付②	金	金 退職者辞令交付式
31	水	土	土

(2) 研究指定校の取組状況(平成29年度)

① 沖縄県教育委員会指定等

学校名	研究領域	研究主題等	期間	備考
本部町立本部小学校	道徳	「部本部」の精神でふるさとを愛し心豊かに共によりよく生きる児童生徒の育成 ～道徳科の授業と体験活動の充実をとおして～	H29 ～ H30	文部科学省 指定
名護市立大宮中学校	道徳	「誠実で心豊かな生徒を育成する道徳教育」 ～思考と対話のある授業づくりを通して～	H28 ～ H29	文部科学省 指定
名護市立羽地小学校	教育課程	「自ら課題を発見し、主体的・協働的に解決することのできる児童の育成」 ～算数科におけるアクティブラーニング型授業の実践をとおして～	H29	義務教育課 指定
名護市立羽地中学校	教育課程	「他者と関わりながら課題の解決に向かい『問い』が生まれる授業の確立」 ～教科部会を中心とした授業改善をとおして～	H29	義務教育課 指定
大宜味村立大宜味小学校	食育	「望ましい食習慣を形成するための指導の工夫」 ～『長寿の里』の秘密を探る教材の開発をとおして～	H29 ～ H30	保健体育課 指定
宜野座村立宜野座小学校	体育	「運動の楽しさや喜びを味わうことのできる学習指導の工夫」 ～一人一人がめあてをもって取り組む体づくりを通して～	H29 ～ H31	保健体育課 指定

(3) 研修修了者(平成28年度)

① 中央研修講座

勤務校	職名	氏名	部会	備考
金武町立中川小学校	校長	新城高樹	校長	校長マネジメント研修
国頭教育事務所	指導主事	前川恒久	道徳	道徳教育指導者養成研修

② 県立総合教育センター長期研修

勤務校	職名	氏名	研究教科等	備考
名護市立久辺中学校	教諭	比嘉さつき	教科研修班 道徳	前期
名護市立名護中学校	教諭	額田侑実子	理科研修班 生物	前期
国頭村立国頭中学校	教諭	與那嶺紀子	理科研修班 家庭	前期
本部町立伊豆味小中学校	教諭	知花智子	IT研修班 IT教育	前期
名護市立安和小学校	教諭	玉野好希枝	教科研修班 生活	後期
名護市立稲田小学校	教諭	友寄隆継	教科研修班 図画工作・美術	後期
名護市立屋部小学校	教諭	仲村嘉生	理科教育班 初等理科	後期
名護市立久辺中学校	教諭	松川達	理科教育班 物理	後期

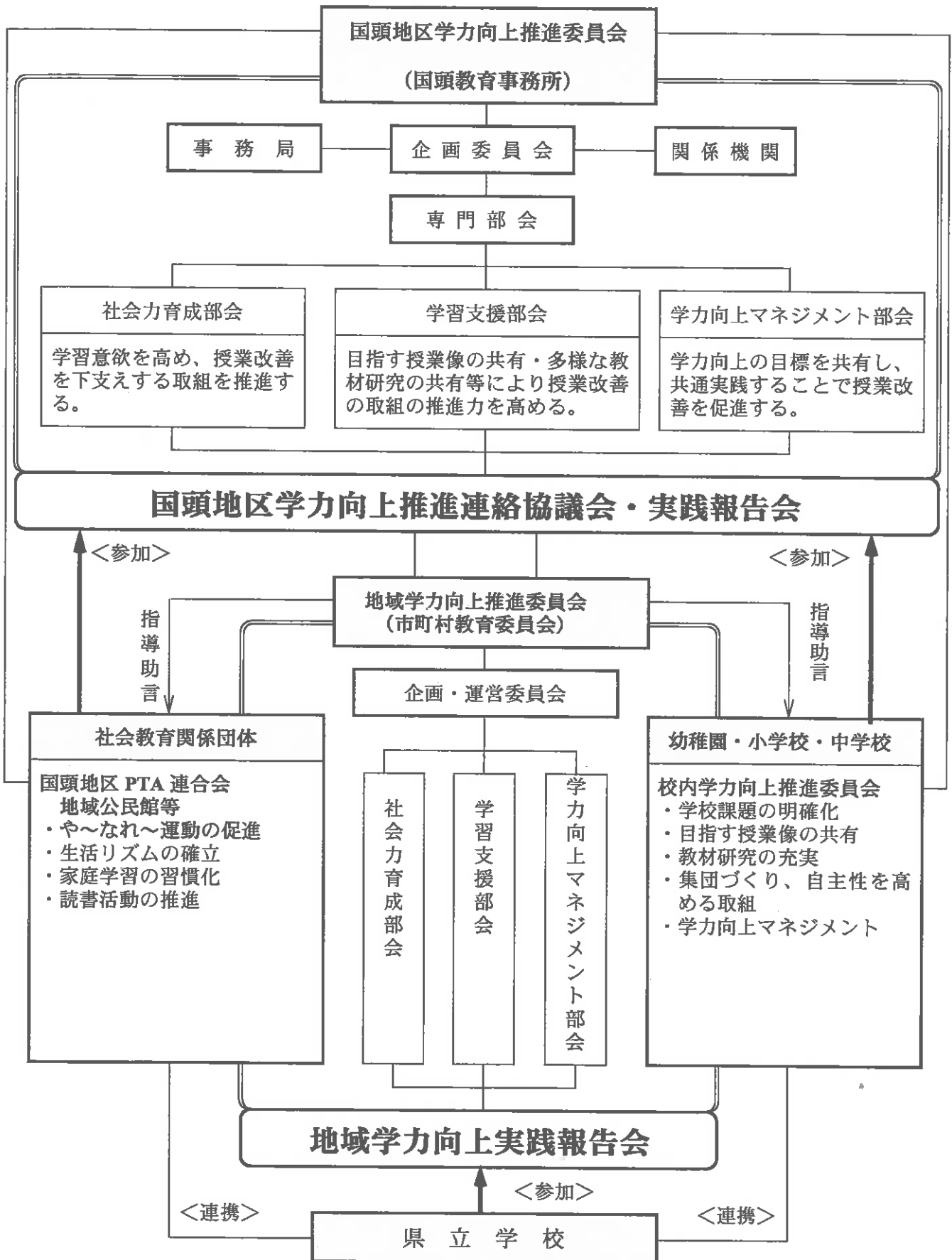
③ 名護市立教育研究所長期研修

勤務校	職名	氏名	研究領域	備考
名護市立屋我地中学校	教諭	美島奈央	理科	前期
名護市立屋我地小学校	教諭	金城有香	道徳	後期

H29 公立幼稚園の概況

市町村名	園数	園名	園長名	教員数	園児数	学級数
国頭村	1	辺土名幼稚園	新垣 直昭	5	64	3
大宜味村	1	大宜味幼稚園	宮城 政信	2	32	2
東 村	2	東 幼稚園	知念 博文	1	7	1
		有 銘 幼稚園	古謝 治	休園	—	—
今帰仁村	3	兼 次 幼稚園	與那嶺 昭	1	20	1
		今帰仁幼稚園	玉城 洋之	3	45	2
		天 底 幼稚園	玉城 武利	1	25	1
本 部 町	5	上本部幼稚園	上間 忠彦	1	33	1
		本 部 幼稚園	山城 祐市	3	86	3
		伊豆味幼稚園	山入端 きよみ	1	8	1
		崎本部幼稚園	中山 幸浩	1	4	1
		瀬 底 幼稚園	座間味 靖	1	7	1
名 護 市	13	屋我地幼稚園	具志堅 仁一	休園	—	—
		真喜屋幼稚園	山内 昌紀	1	2	1
		羽 地 幼稚園	照屋 巧	1	17	1
		稲 田 幼稚園	比嘉 知美	休園	—	—
		安 和 幼稚園	宮城 裕司	1	13	1
		屋 部 幼稚園	渡慶次 賀乃	3	48	2
		大 宮 幼稚園	下里 哲弘	3	86	4
		名 護 幼稚園	渡久地 義幸	3	54	2
		東 江 幼稚園	堀越 泉	1	22	1
		瀬喜田幼稚園	長田 肇	1	6	1
		久 志 幼稚園	渡具知 久浩	2	25	1
		久 辺 幼稚園	伊波 和子	1	6	1
		大 北 幼稚園	宮城 司	3	39	2
宜野座村	3	松 田 幼稚園	羽根田 幸江	1	17	1
		宜野座幼稚園	仲里 信男	2	36	2
		漢 那 幼稚園	安富 広子	1	18	1
金 武 町	3	中 川 幼稚園	新城 高樹	1	10	1
		金 武 幼稚園	森元 幹生	4	70	3
		嘉 芸 幼稚園	与那城 銀正	3	48	2
伊 江 村	2	伊 江 幼稚園	比嘉 悟	2	24	1
		西 幼 稚 園	目取真 淳	2	28	1
伊平屋村	1	伊平屋幼稚園	黛 智久	1	17	1
伊是名村	1	伊是名幼稚園	下地 盛純	2	33	2
合 計	35			59	950	49

平成29～31年度 地区学力向上推進体制



(2) 学校教育関係団体一覧

	団 体 名	会 長 名	勤 務 校	電 話
1	地区幼稚園会	上 間 忠 彦	上 本 部 小 学 校	48-2212
2	小学校校長会	堀 越 泉	東 江 小 学 校	52-2860
3	中学校校長会	前 田 孝 実	上 本 部 中 学 校	48-2211
4	小中学校国頭支部教頭会	島 袋 剛	今 帰 仁 中 学 校	51-5666
5	養護教諭研究会	照 屋 亜 里 砂	屋 我 地 小 学 校	52-8162
6	事務職員協会国頭支部	渡 具 知 喜 文	大 宜 味 小 学 校	44-1306
7	中学校進路指導・キャリア教育研究会	新 里 孝 雄	屋 部 中 学 校	52-2644
8	健康教育研究会	金 城 正 武	野 甫 小 中 学 校	46-2115
9	栄養士会北部支部	大 城 た え 子	本 部 給 食 セ ン タ ー	48-2213
10	中学校体育連盟	島 袋 賢 雄	国 頭 中 学 校	52-2641
11	中学校文化連盟	田 中 隆 史	羽 地 中 学 校	58-1234
12	北部地区吹奏楽連盟	渡 久 地 義 幸	名 護 小 学 校	52-2044
13	図書館協議会北部支部	伊 波 和 子	久 辺 小 学 校	55-2101
14	へき地教育研究連盟北部支部	古 謝 治	有 銘 小 中 学 校	43-2061
15	特別支援教育研究会	新 里 孝 雄	屋 部 中 学 校	52-2644
16	地区難聴言語障害研究会	堀 越 泉	東 江 小 学 校	52-2860
17	小・中学校PTA連合会	具 志 堅 勉	P T A 事 務 局	54-0388
18	小学校国語教育研究会	小 波 津 京 子	名 護 小 学 校	52-2044
19	中学校国語教育研究会	石 川 清 一	本 部 中 学 校	47-2203
20	小学校社会科研究会	森 元 幹 生	金 武 小 学 校	968-2408
21	中学校社会科教育研究会	山 入 端 き よ み	伊 豆 味 小 中 学 校	47-2207
22	算数教育研究会	宮 城 裕 司	安 和 小 学 校	53-8649
23	数学教育研究会	喜 友 名 悟	今 帰 仁 中 学 校	51-5666
24	理科教育研究会	渡 具 知 久 浩	緑 風 学 園	55-8113
25	小学校音楽教育研究会	渡 久 地 義 幸	名 護 小 学 校	52-2044
26	中学校音楽教育研究会	根 路 銘 国 斗	大 宮 中 学 校	52-7412
27	小学校体育研究会	長 田 肇	瀬 喜 田 小 学 校	47-2207
28	中学校体育研究会	比 嘉 康 博	大 宜 味 中 学 校	44-2840
29	技術・家庭科研究会	知 念 博 文	高 江 小 中 学 校	43-2683
30	中学校英語研究会	島 袋 ゆ かり	東 小 中 学 校	43-2117
31	小学校特別活動研究会	安 富 広 子	漢 那 小 学 校	968-2511
32	学力向上推進委員会	友 寄 隆 央	国 頭 教 育 事 務 所	52-2664

12 受賞者一覧(平成28年度)

(1) 全国規模の大会等

① 学校受賞等

学 校 名	賞名・成績等	摘 要	主 催
該当無し			

② 文化活動個人の部

学 校 名	個 人 名	学年	摘 要	主 催
大北小学校	並 里 蔵 乙	3	第15回りんり俳句大賞1学期の部 金賞	上廣倫理財団
西小学校	大 城 かの	6	第63回全国少年新春書道展 特選	明治神宮書道会

③ 文化活動団体の部

学 校 名	団 体 名	人数	摘 要	主 催
名護中学校	名護中学校	6	第4回科学の甲子園ジュニア全国大会実技② 1位	独立行政法人科学技術振興機構

④ スポーツ活動個人の部

学 校 名	個 人 名	学年	摘 要	主 催
久志中学校	荒 木 帆 華	3	2016 KANAKA IKAICA MOLOKAI-OAHU CHALLENGE 世界大会女子の部 2位	KANAKA IKAICA MOLOKAI-OAHU CHALLENGE 実行委員会
今帰仁中学校	田 口 頼	1	第5回全国SUP選手権大会RACE・総合部門 優勝	日本スタンドアップパドルボード協会
今帰仁中学校	田 口 頼	3	Waterman kage world seais 2016 Victoria cup hayama pro 3位	Victoria

(2) 九州規模の大会等

① 文化活動団体の部

学 校 名	団 体 名	人数	摘 要	主 催
松田小学校	松田小学校		第62回全九州学校図書館コンクール 優秀賞	九州地区学校図書館協議会

② 文化活動個人の部

学 校 名	個 人 名	学年	摘 要	主 催
大宜味小学校	平 良 妃 彩	3	第60回西日本読書感想画コンクール 優秀賞	九州・山口県各学校図書館協議会

③ スポーツ活動団体の部

学 校 名	団 体 名	人数	摘 要	主 催
金武中学校	金武中学校	21	第14回九州中学生選抜軟式野球九州大会 優勝	全日本軟式野球九州連盟

④ スポーツ活動個人の部

学 校 名	個 人 名	学年	摘 要	主 催
東江小学校	新 垣 瑚 太 郎	4	第16回九州地区空手道選手権大会 組手・優勝	日本空手道連合会九州地区協議会
大宮小学校	具 志 堅 あい	4	第16回九州地区空手道選手権大会 形・優勝	日本空手道連合会九州地区協議会

(3) 沖縄県児童生徒等表彰

① 教育・文化活動部門

学 校 名	学 年	個人名・団体	摘 要
該当無し			

② スポーツ活動部門

学校名	学年	個人名・団体	摘要
該当無し			

(4) 学校教職員

学校名	個人名	摘要
大宮中学校	玉城史江	平成28年度文部科学大臣優秀教員表彰
上本部小学校	與那城睦	平成28年度沖縄県教育関係職員表彰 優秀教職員部門
大北小学校	謝花しのぶ	平成28年度沖縄県教育関係職員表彰 優秀教職員部門
大宮小学校	島田綾子	平成28年度沖縄県教育関係職員表彰 優秀教職員部門
金武小学校	比嘉ほずみ	平成28年度沖縄県教育関係職員表彰 優秀教職員部門
羽地中学校	新城基之	平成28年度沖縄県教育関係職員表彰 優秀教職員部門
名護中学校	比嘉幹男	平成28年度沖縄県教育関係職員表彰 優秀教職員部門
大宮中学校	喜屋武匡	平成28年度沖縄県教育関係職員表彰 優秀教職員部門
安和小学校	伊礼和美	平成28年度沖縄県教育関係職員表彰 功労者部門
漢那小学校	玉元千鶴	平成28年度沖縄県教育関係職員表彰 功労者部門
屋我地小学校	比嘉淳	第24回教育実践研究論文 最優秀賞(共同研究)
屋我地小学校	屋宜まゆみ	" " "
屋我地中学校	小浜守裕	" " "
東小学校	泉川良之	第24回教育実践研究論文 優秀賞

(5) 社会教育関係

① 個人の部

団体名・役職名	氏名	摘要
伊江村PTA連絡協議会前副会長	玉城盛栄	日本PTA全国協議会表彰
名護市立屋部中学校PTA副会長	安富組 勸	九州ブロックPTA協議会表彰
大宜味村立大宜味中学校PTA前会長	新城 寛	沖縄県PTA連合会表彰
本部町立瀬底小学校PTA総務部長	仲宗根 学	沖縄県PTA連合会表彰
名護市立羽地中学校PTA前会長	翁 長 啓	沖縄県PTA連合会表彰
名護市立名護中学校PTA家庭教育副部長	仲宗根 宗和	沖縄県PTA連合会表彰
名護市立名護中学校PTA顧問	崎浜 宏	沖縄県PTA連合会表彰
名護市立東江中学校PTA前会長	大城 享	沖縄県PTA連合会表彰
名護市立東江中学校PTA会長	崎浜 秀之	沖縄県PTA連合会表彰
金武町立金武中PTA副会長	新嶋 正規	沖縄県PTA連合会表彰

② 団体の部

団体名	摘要
本部町立瀬底小学校PTA	日本PTA全国協議会表彰
名護市立大宮中学校PTA	九州ブロックPTA協議会表彰
名護市立大北中学校PTA	沖縄県PTA連合会表彰
名護市立屋我地ひるぎ学園PTA	第27回沖縄県PTA広報誌コンクール奨励賞

13 管内学校一覧
 <小学校>

設置者	学校名	へき地級	所在地	郵便番号	電話番号	FAX番号	学校長名	教員数等	児童数	学級数
国頭村	北 国	3	国頭村字宜名真535	905-1422	0980-41-8966	0980-41-8967	金城 明美	7	5	3
	奥	3	国頭村字奥313	905-1501	0980-41-8110	0980-41-8022	田 場 勝	8	14	4
	佐 手	1	国頭村字佐手293	905-1425	0980-41-2943	0980-41-2953	上 間 享	7	8	3
	安 田	3	国頭村字安田279	905-1503	0980-41-7557	0980-41-7030	仲村 秀也	8	12	4
	安 波	3	国頭村字安波601	905-1504	0980-41-7556	0980-41-7558	宮城 尚志	7	9	3
	辺 土 名 準		国頭村字辺土名181	905-1411	0980-41-2110	0980-41-2761	新垣 直昭	14	139	8
	奥 間 準		国頭村字奥間1	905-1412	0980-41-2311	0980-41-2328	久高利美子	12	90	7
大宜味村	大 宜 味 準		大宜味村字塩屋1306番6	905-1311	0980-44-1306	0980-44-1010	宮城 達也	16	138	8
東 村	高 江	3	東村字高江83-8	905-1201	0980-43-2683	0980-43-2523	比嘉 克章	5	7	2
	(併) 東	準	東村字川田837	905-1203	0980-43-2117	0980-43-2163	知念 博文	12	57	7
	有 銘	1	東村字有銘1	905-1206	0980-43-2061	0980-43-2247	古 謝 治	8	26	5
今帰仁村	兼 次		今帰仁村字今泊3933	905-0428	0980-56-2548	0980-56-2496	與那嶺 昭	14	152	9
	今 帰 仁		今帰仁村字越地207	905-0421	0980-56-2407	0980-56-2462	玉城 洋之	19	267	13
	天 底		今帰仁村字天底420	905-0411	0980-56-2405	0980-56-2242	玉城 武利	13	166	7
本 部 町	本 部		本部町字東605	905-0211	0980-47-2202	0980-47-6415	山城 祐市	29	485	20
	(併)伊豆味		本部町字伊豆味13	905-0221	0980-47-2207	0980-47-6418	(山入端ぎよみ)	10	38	7
	崎 本 部		本部町字崎本部127	905-0225	0980-47-2201	0980-47-4473	中山 幸浩	7	22	3
	瀬 底		本部町字瀬底693	905-0227	0980-47-2208	0980-47-6419	座間味 靖	11	51	5
	(併)水 納	5	本部町字瀬底6260	905-0227	0980-47-4848	0980-47-6480	真喜志 隆夫	4	1	1
	上 本 部		本部町字北里1317	905-0209	0980-48-2212	0980-48-3047	上間 忠彦	14	168	8
名 護 市	屋 我 地		名護市字饒平名159	905-1632	0980-52-8162	0980-52-8488	具志堅 仁一	12	78	6
	真 喜 屋		名護市字真喜屋571	905-1143	0980-58-1251	0980-58-1272	山内 昌紀	13	85	8
	羽 地		名護市字田井等601-2	905-1147	0980-58-1212	0980-58-1217	照屋 巧	22	349	14
	稲 田		名護市字我部祖河440-1	905-1155	0980-52-2676	0980-52-2662	比嘉 知美	13	96	8
	安 和		名護市字安和174	905-0001	0980-53-8649	0980-53-8472	宮城 裕司	11	52	6
	屋 部		名護市字屋部47	905-0007	0980-52-2647	0980-52-2977	渡慶次 賀乃	34	595	23
	中山分校		名護市字中山208-1	905-0004	0980-52-2441	0980-52-2929	渡慶次 賀乃	5	12	3
	大 官		名護市字宮里5-13-22	905-0011	0980-52-3355	0980-52-2270	下里 哲弘	43	833	31
	名 護		名護市字大西2-2-22	905-0018	0980-52-2044	0980-52-1180	渡久地 義幸	38	818	31
	東 江		名護市字東江1-7-2	905-0021	0980-52-2860	0980-52-2078	堀 越 泉	30	473	21
	瀬 喜 田		名護市字幸喜4-1	905-0025	0980-52-2846	0980-52-2856	長 田 肇	12	70	7
	久 志		名護市字瀬嵩296	905-2266	0980-55-8105	0980-55-8687	渡具知 久浩	14	98	8
	久 辺		名護市字豊原208	905-2172	0980-55-2101	0980-55-2187	伊波 和子	14	157	8
	大 北		名護市大北4-19-37	905-0019	0980-53-1648	0980-54-3224	宮城 司	35	565	25
宜野座村	松 田		宜野座村字松田601	904-1301	098-968-8506	098-968-2544	羽根田 幸江	12	124	7
	宜 野 座		宜野座村字宜野座1190	904-1302	098-968-8550	098-968-2542	仲里 信男	20	227	12
	漢 那		宜野座村字漢那1987-5	904-1304	098-968-2511	098-968-2613	安富 広子	13	123	8
金 武 町	中 川		金武町字金武10154	904-1201	098-968-2103	098-968-4621	新城 高樹	13	55	8
	金 武		金武町字金武549	904-1201	098-968-2408	098-968-4605	森元 幹生	35	533	24
	嘉 芸		金武町字屋嘉1470	904-1203	098-964-2004	098-964-6940	与那城 銀正	15	202	10
伊 江 村	伊 江	3	伊江村字東江前364	905-0595	0980-49-2009	0980-49-2367	比 嘉 悟	14	100	8
	西	3	伊江村字川平600	905-0596	0980-49-2012	0980-49-2050	目取 真淳	13	138	8
伊平屋村	伊 平 屋	4	伊平屋村字我喜屋2132	905-0703	0980-46-2009	0980-46-2665	黛 智 久	13	74	8
伊平屋村	(併)野 甫	5	伊平屋村字野甫401	905-0705	0980-46-2115	0980-46-2600	(金城正武)	7	15	3
伊是名村	伊 是 名	4	伊是名村字仲田1163	905-0603	0980-45-2009	0980-45-7358	下地 盛純	13	78	7
合 計								689	7805	429

<中学校>

設置者	学校名	へき地級	所在地	郵便番号	電話番号	FAX番号	学校長名	教員数等	生徒数	学級数
国頭村	国頭	準	国頭村字辺士名1463	905-1411	0980-41-2205	0980-41-3071	島袋 賢雄	17	133	8
大宜味村	大宜味	準	大宜味村字塩屋1306番6	905-1318	0980-44-2840	0980-44-2897	比嘉 康博	12	74	4
東村	(併)東	準	東村字川田837	905-1203	0980-43-2117	0980-43-2163	(知念博文)	11	48	4
今帰仁村	今帰仁		今帰仁村字仲宗根47	905-0401	0980-51-5666	0980-51-5668	喜友名 悟	26	305	11
本部町	上本部		本部町字北里573	905-0209	0980-48-2211	0980-48-3046	前田 孝実	12	72	4
	本部		本部町字渡久地231-1	905-0214	0980-47-2203	0980-47-6416	石川 清一	25	283	10
	(併)伊豆味		本部町字伊豆味13	905-0221	0980-47-2207	0980-47-6418	山入端きよみ	10	17	3
	(併)水納	5	本部町字瀬底6260	905-0227	0980-47-4848	0980-47-6480	(真喜志隆夫)	4	1	1
名護市	屋我地		名護市字饒平名159	905-1632	0980-52-8162	0980-52-8488	(具志堅仁一)	11	41	4
	羽地		名護市字仲尾次770	905-1144	0980-58-1234	0980-58-1247	田中 隆史	24	242	11
	屋部		名護市字屋部546	905-0007	0980-52-2644	0980-52-2674	新里 孝雄	20	236	9
	名護		名護市字大西2-2-33	905-0018	0980-52-2641	0980-52-3695	平田 修	47	629	23
	久志		名護市字汀間122	905-2265	0980-55-8113	0980-55-8779	(渡具知久浩)	15	52	5
	久辺		名護市字豊原208	905-2172	0980-55-2242	0980-55-2241	宮里 淳	14	79	5
	東江		名護市字大東2-1-1	905-0016	0980-52-1225	0980-52-1226	神元 勉	29	274	14
大宮		名護市字宮里7-2-66	905-0011	0980-52-7412	0980-52-7411	根路銘 国斗	29	394	14	
宜野座村	宜野座		宜野座村字惣慶1505	904-1303	098-968-8510	098-968-2634	呉屋 江山	20	224	9
金武町	金武		金武町字金武3504	904-1201	098-968-2106	098-968-4607	山城 秀樹	25	354	15
伊江村	伊江	3	伊江村字西江前1	905-0594	0980-49-2011	0980-49-5821	宮里 嘉昌	16	125	8
伊平屋村	伊平屋	4	伊平屋村字我喜屋241	905-0703	0980-46-2006	0980-46-2211	吉田 アヤ子	12	45	4
	(併)野甫	5	伊平屋村字野甫401	905-0705	0980-46-2115	0980-46-2600	金城 正武	4	2	1
伊是名村	伊是名	4	伊是名村字仲田1344	905-0603	0980-45-2008	0980-45-2962	与那覇 了	13	36	5